

アルミ軽量ひさし RS バイザー

RS - K 型 施工要領書

この度は、ダイケン製品をご採用いただき、ありがとうございます。

確実な施工を行い、製品の安全を確保するため、施工前にこの「施工要領」を必ずお読みください。



出幅 1000mm 以下
ステーなし



出幅 1000mm 超え
ステー付き

— 目 次 —

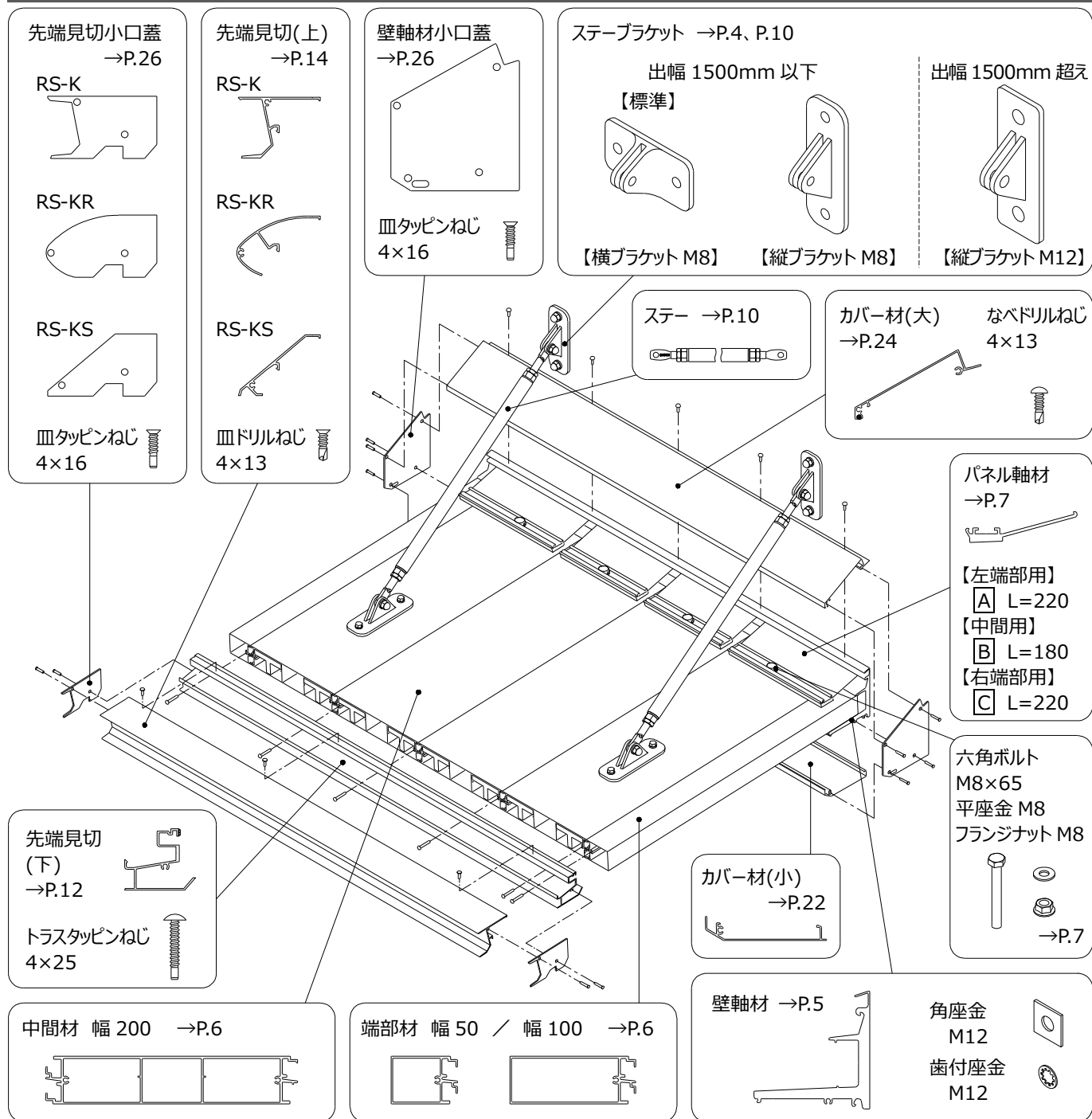
施工上の注意点	1
部材名称	2
施工手順	3～27
【オプション】LED照明	28～31
施工確認チェックシート	32

施工上の注意点

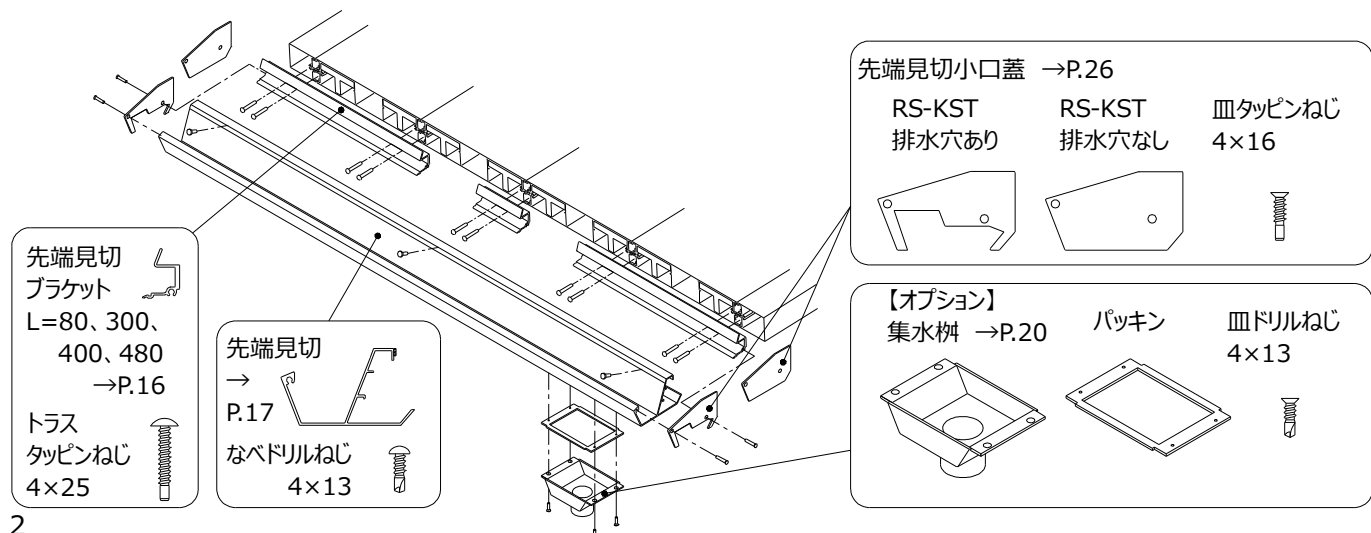
- ☐ 転落や破損の恐れがありますので、底に乗ったりぶらさがったりしないでください。
- ☐ ねじやボルトは全て確実に締めてください。
- ☐ 施工後、ねじやボルトにゆるみやガタつき、その他使用上危険な箇所等がないか確認してください。
- ☐ 底の角度は指定角度範囲内で使用してください。
- ☐ 正規の施工方法以外での取付けや、改造等を行わないでください。

※ 改良のため、予告なく製品の一部を変更する場合があります。御了承ください。

■ 部材名称 RS-K/KR/KS 先端樋なし



■ 部材名称 RS-KST 先端樋つき



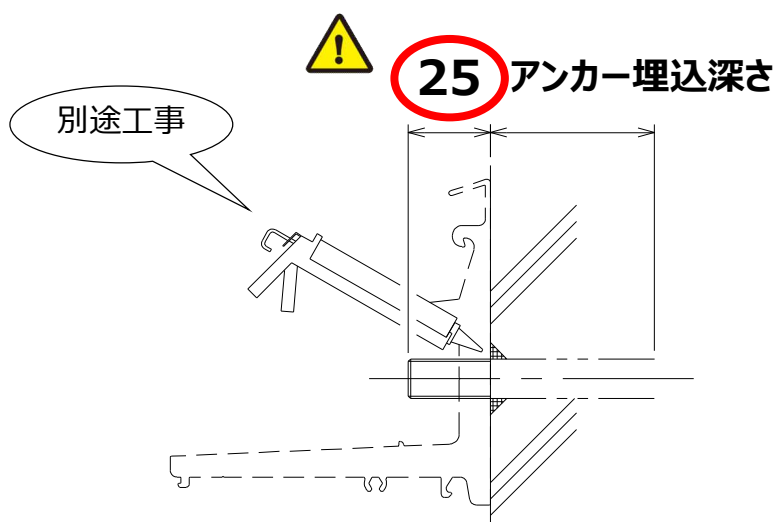
■ 施工手順

1. 墨出しをする

アンカープランに従い、墨出しを行ってください。

2. 壁軸材の取付ボルトを準備する

- ボルト出し長さは 25mm です。



準備するもの

- 取付ボルト M12（別途）

！ 注意

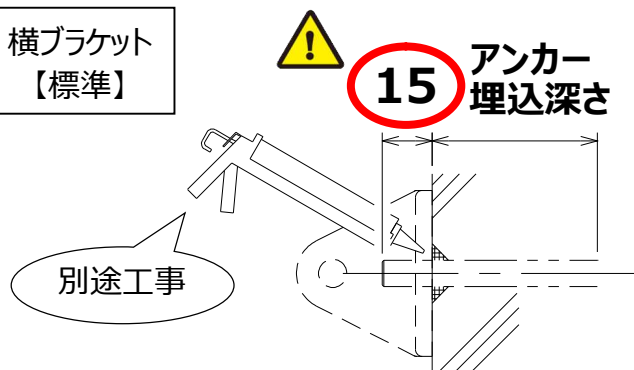
- ☑ アンカーの埋込深さは、仕上モルタルやタイル等の仕上材厚さを含まず、躯体部分に確実に入るようにし、規定寸法を確認してください。
- ☑ あと施工アンカーによる施工は RC 躯体のみです。
- ☑ アンカー取付位置については、アンカープランにてご確認ください。
- ☑ アンカーは、アンカーに発生する引抜力に対し、十分安全であることを確認し使用してください。
- ☑ 躯体によりアンカーピッチを変更する場合は、壁軸材に新設穴をあけて取付けてください。アンカー数は減らさないでください。

3. ステブラケット取付ボルトを準備する（ステー付きのみ）

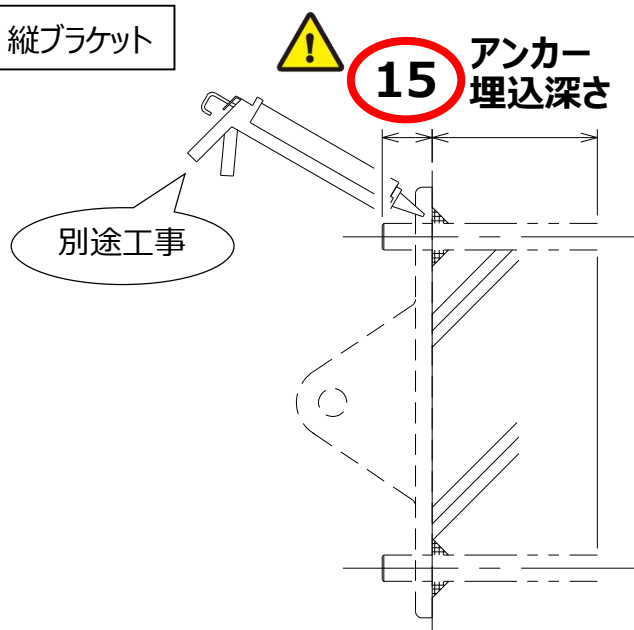
出幅D 1500mm 以下（M8）

- ボルト出し長さは 15mm です。

横ブラケット
【標準】



縦ブラケット

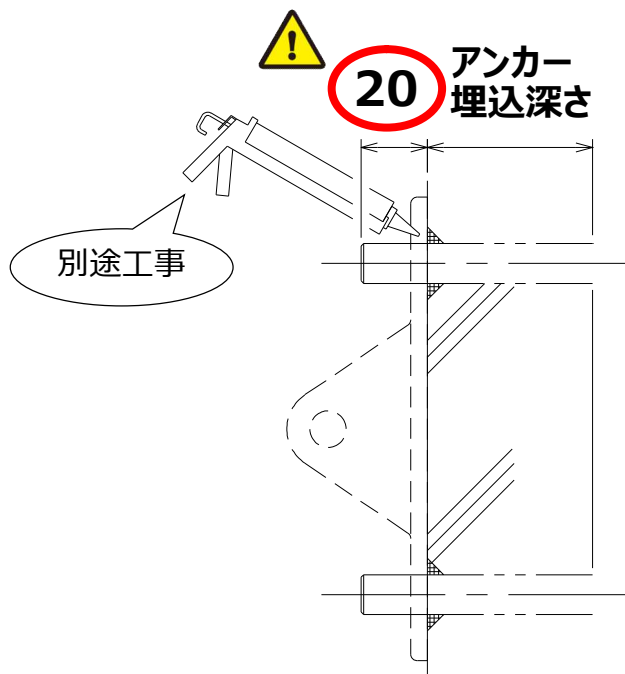


準備するもの

- 取付ボルト M8（別途）

出幅D 1500mm 超え（M12）

- ボルト出し長さは 20mm です。



準備するもの

- 取付ボルト M12（別途）

⚠ 注意

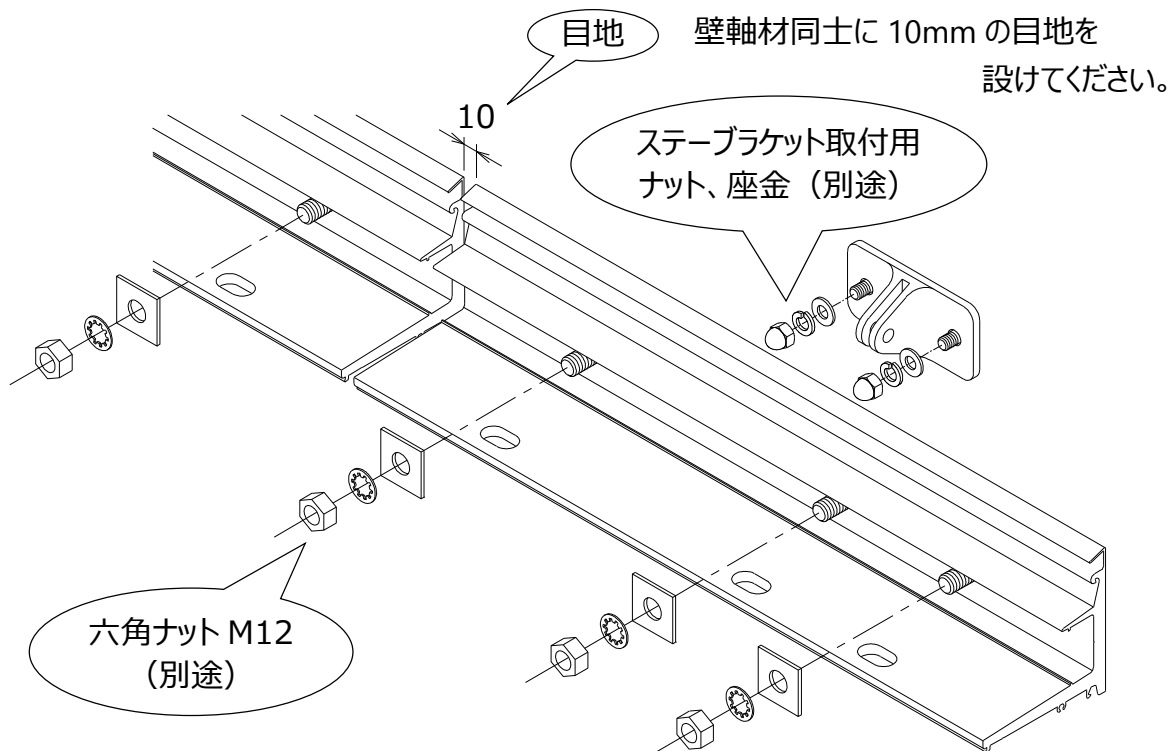
- ☑ アンカーの埋込深さは、仕上モルタルやタイル等の仕上材厚さを含まず、躯体部分に確実に入るようにし、規定寸法を確認してください。
- ☑ あと施工アンカーによる施工は RC 躯体のみです。
- ☑ アンカー取付位置については、アンカープランにてご確認ください。
- ☑ アンカーは、アンカーに発生する引抜力に対し、十分安全であることを確認し使用してください。

4. 壁軸材、ステーブラケットを取付ける

⚠ 壁面の出入りを調整し、壁軸材とステーブラケットを取付けてください。

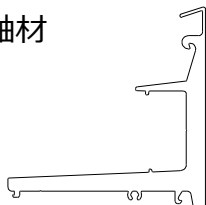
壁軸材は角座金と歯付座金を使用し、取付ボルトを本締めします。

壁軸材を 2 本以上取付ける場合



準備するもの

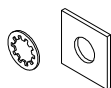
● 壁軸材



● 角座金 □32 t 2.3

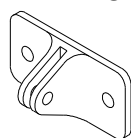
● 歯付座金 M12

● 六角ナット M12 (別途)



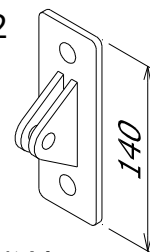
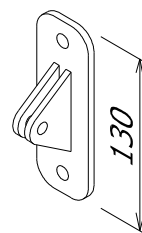
● ステーブラケット

出幅 1500mm 以下
→ M8



【標準】

出幅 1500mm 超え
→ M12



● ステーブラケット取付用ナット、座金 (別途)

⚠ 注意

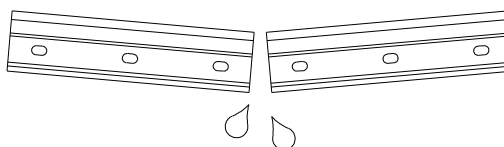
壁軸材を 2 本以上取付ける場合、目地部が谷にならないようにしてください。



水平／八の字

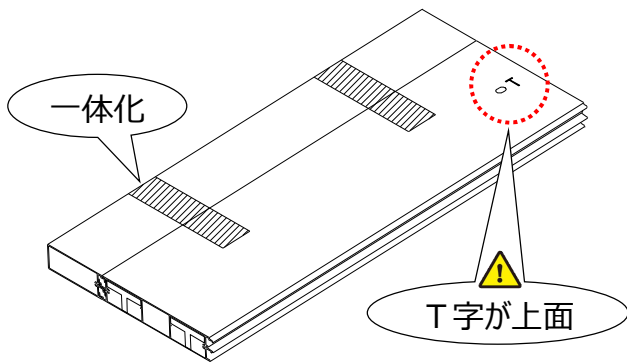


V 字



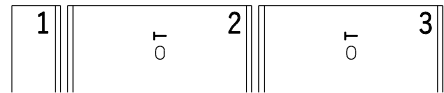
5. 中間材・端部材を取付ける

〈 準備 〉 中間材と端部材を養生テープ等で一体化します（仮止め）。

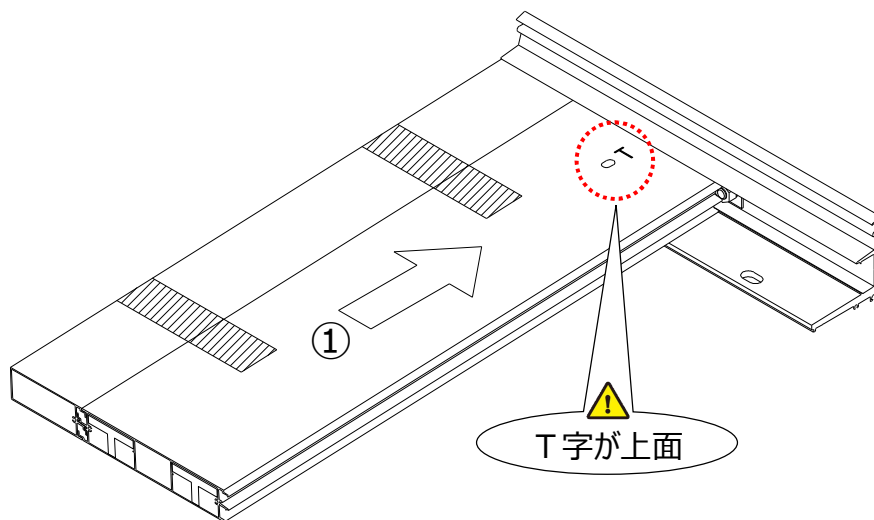


⚠ ステンカラー色の場合

取付けの順番は、左から 1.2.3...



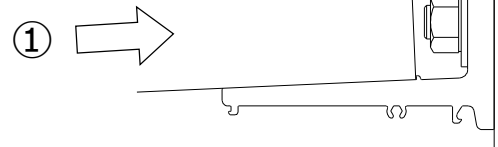
① 中間材と端部材を壁軸材の突起に当たるまで奥まで差し込みます。



⚠ 注意

中間材には上下があります。取付穴横に「**T**」の刻印がある面を上面になるように取付けてください。

上下逆に取付けると水漏れの原因となります。



準備するもの

● 中間材 200



● 端部材 50

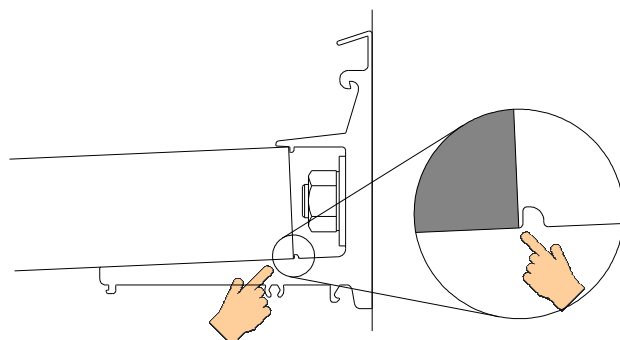


または 100

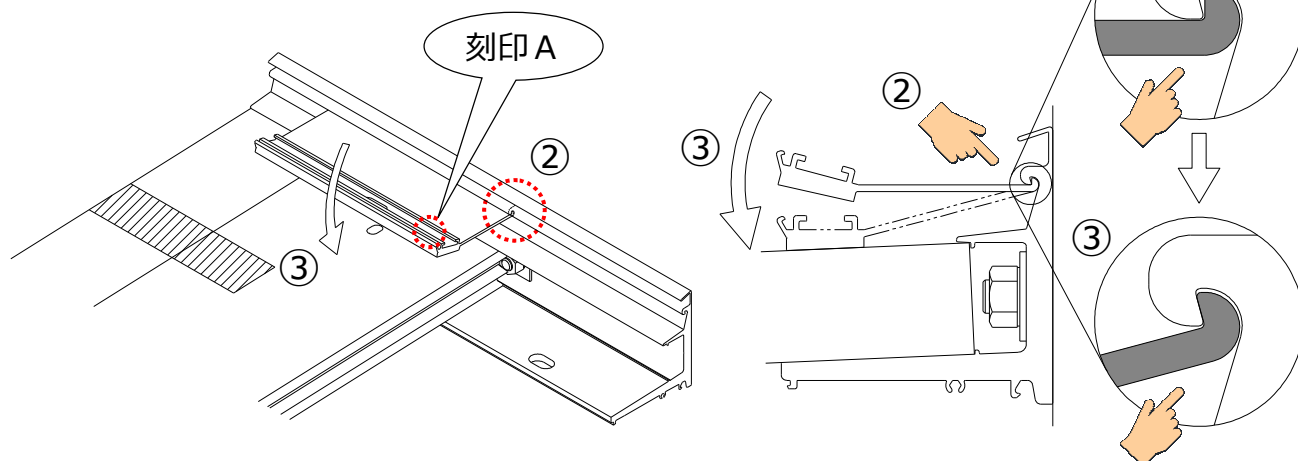


⚠ 注意

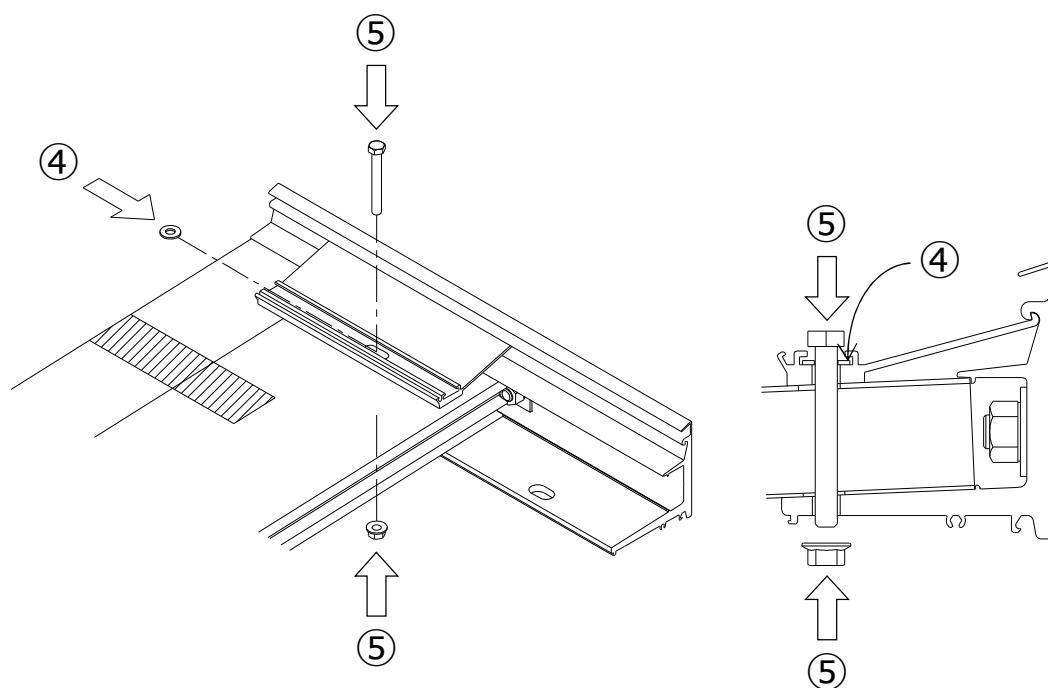
中間材と端部材が壁軸材の突起に当たっていることを確認してください。



- ② パネル軸材を壁軸材に引っかけて
- ③ 回転させます。

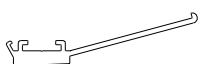


- ④ パネル軸材の溝に平座金を差し込み
- ⑤ 六角ボルト、フランジナットで締結します。

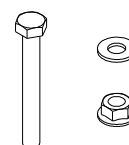


準備するもの

- パネル軸材
L=220
(刻印 A、左端部)

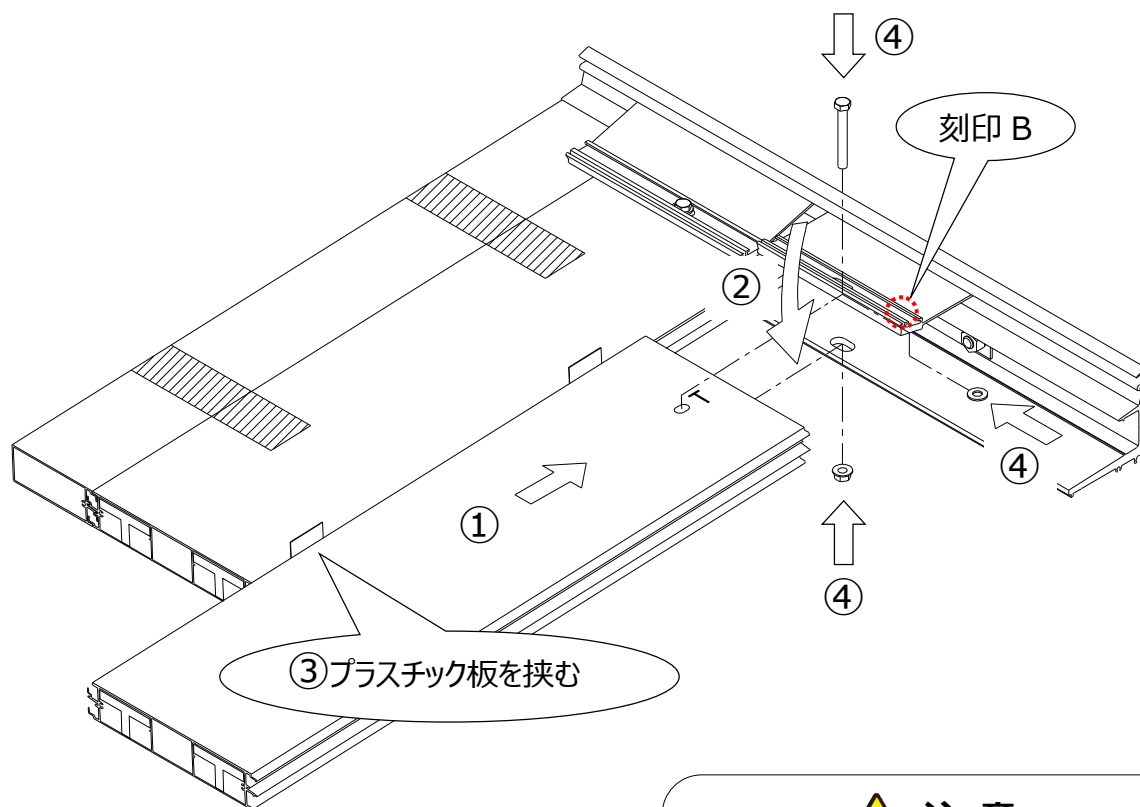


- 六角ボルト M8×65
- 平座金 M8
- フランジナット M8



6. 2 本目以降の中間材・端部材を取付ける

- ① P 6 の手順で中間材を壁軸材に差し込みます。
- ② P 7 の手順でパネル軸材を壁軸材に引っかけて回転させます。
- ③ 中間材同士の目地にプラスチック板をはさみ、0.5mm の目地を設けます。
(※) 中間材締結後に取り外して再利用してください。
- ④ パネル軸材の溝に平座金を差し込み、ボルトナットで締結します。

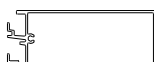


準備するもの

- 中間材 200



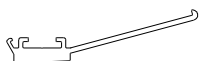
- 端部材 50
または
端部材 100



- パネル軸材

L=180 (刻印 B)

L=220 (刻印 C、右端部)



- プラスチック板 t0.5



- 六角ボルト M8×65



- 平座金 M8

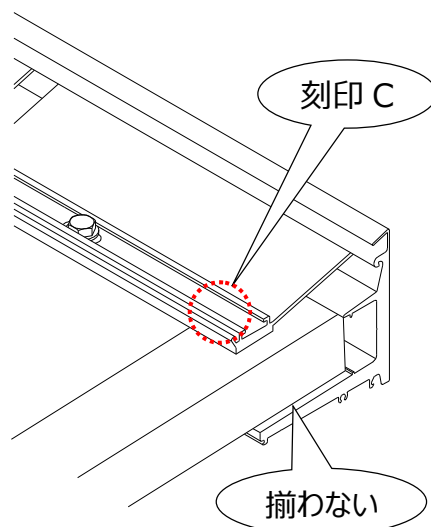


- フランジナット M8



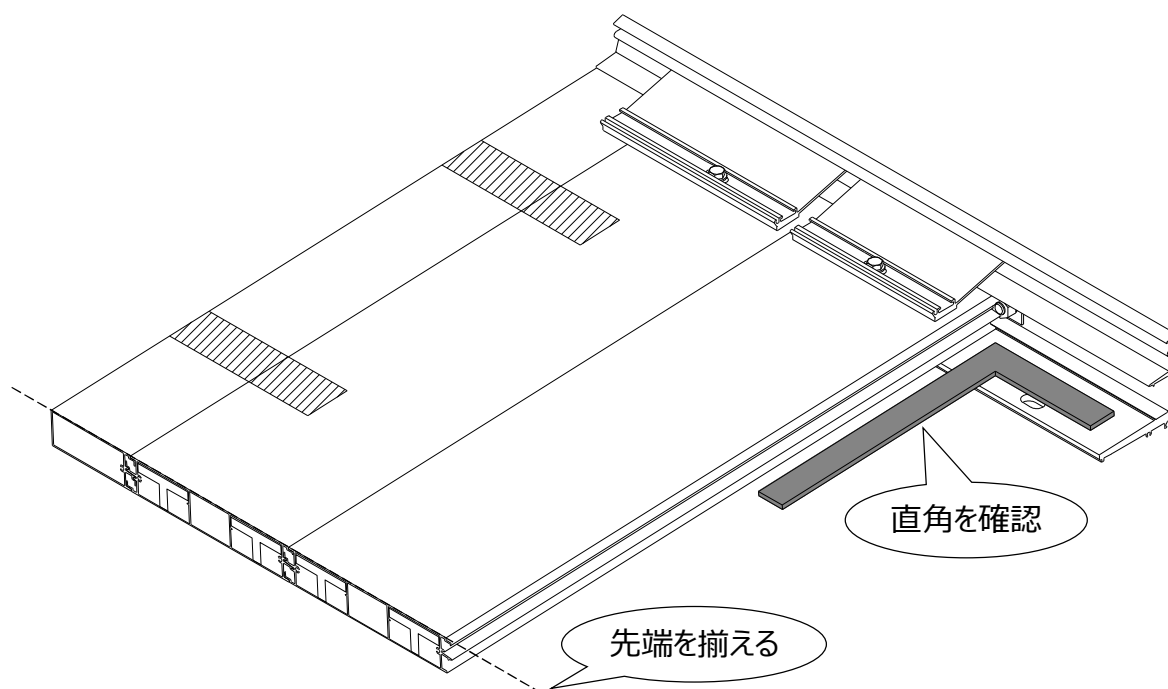
⚠ 注意

既定の目地を設けないと、端部材と壁軸材との面が揃わない場合があります。



揃わない場合は、小口蓋を取付けた後、隙間に防水シールを施してください。

- ※ 中間材は、壁軸材と直角（90°）で取付けられていることを確認しながら取付けてください。
- ※ 中間材は、先端側が揃っていることを確認しながら取付けてください。



⚠ 注意

中間材を奥まで差し込んでいなかったり、壁軸材と直角に取付けられていないと、先端側が揃わなくなる場合があります。

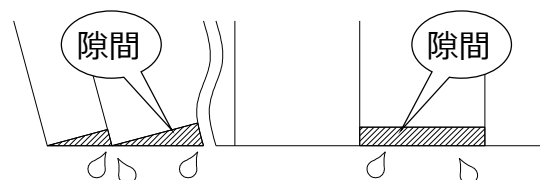
先端見切取付時に中間材との間に隙間が出来ると水漏れの原因となりますので、直角と先端が揃っていることを確認しながら取付けてください。



中間材の先端を揃える

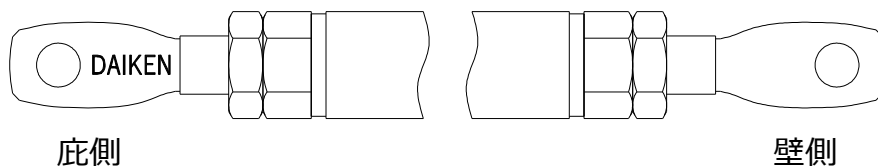


直角が出ていない
先端が揃っていない

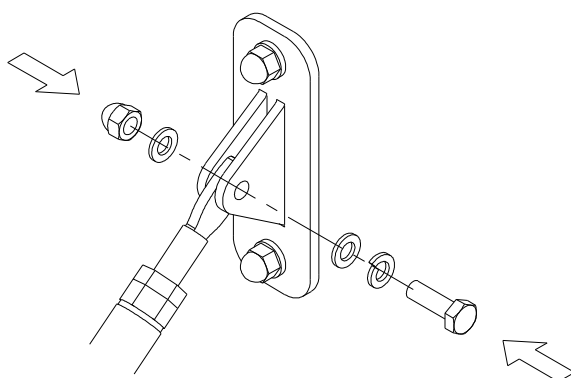


7. ステーを取付ける（ステー付きのみ）

ステーの標準の向きは、「DAIKEN」刻印側が底側、刻印なし側が壁側です。



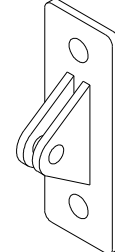
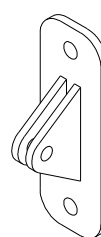
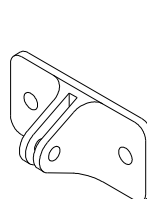
- ① 壁側のブラケットにステーを取付けます。



壁側のブラケット（標準）は
出幅により形状が異なります。

出幅 D
1500mm 以下

出幅 D
1500mm 超え

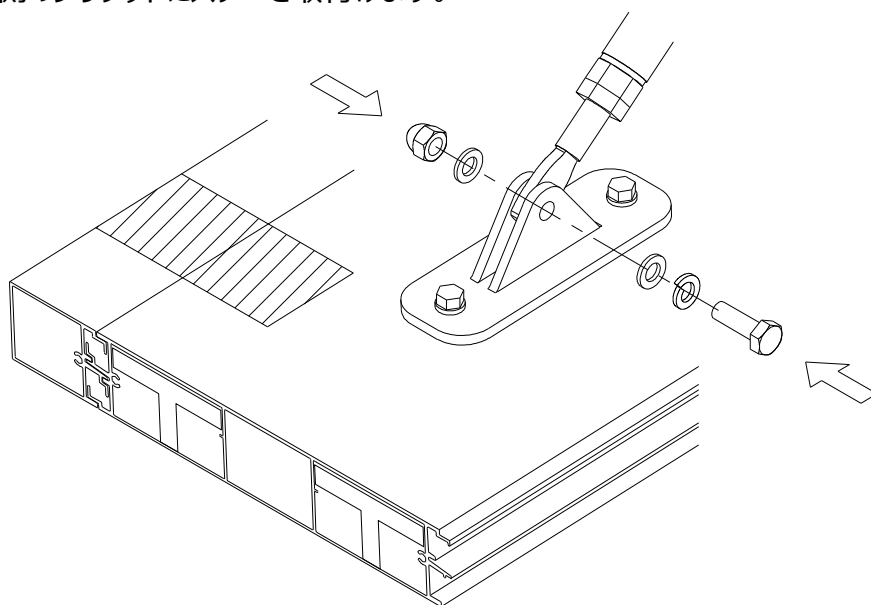


【標準】

H130

H140

- ② 中間材側のブラケットにステーを取付けます。



準備するもの

- ステー



- 六角ボルト
- 平座金
- ばね座金
- 袋ナット



出幅 D
1500mm 以下

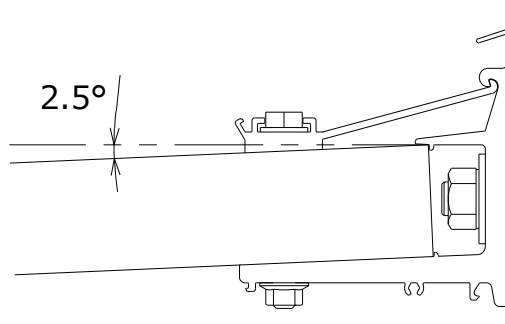
M8×25
M8
M8
M8

出幅 D
1500mm 超え

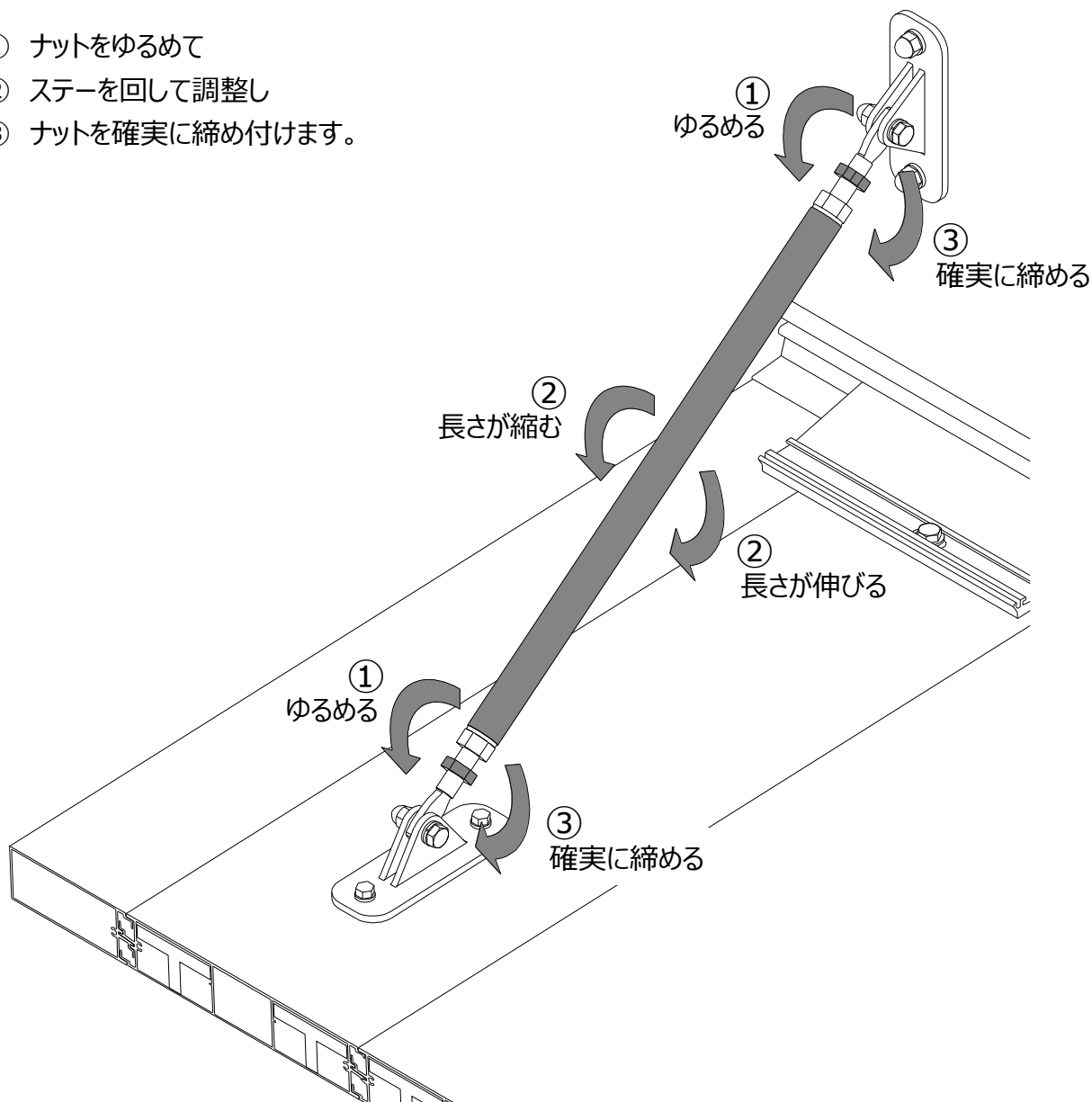
M10×30
M10
M10
M10

⚠ 底の先端のレベルが出ていない時は、ステーの長さを調整してください。

標準の屋根勾配は 2.5° です。



- ① ナットをゆるめて
- ② ステーを回して調整し
- ③ ナットを確実に締め付けます。



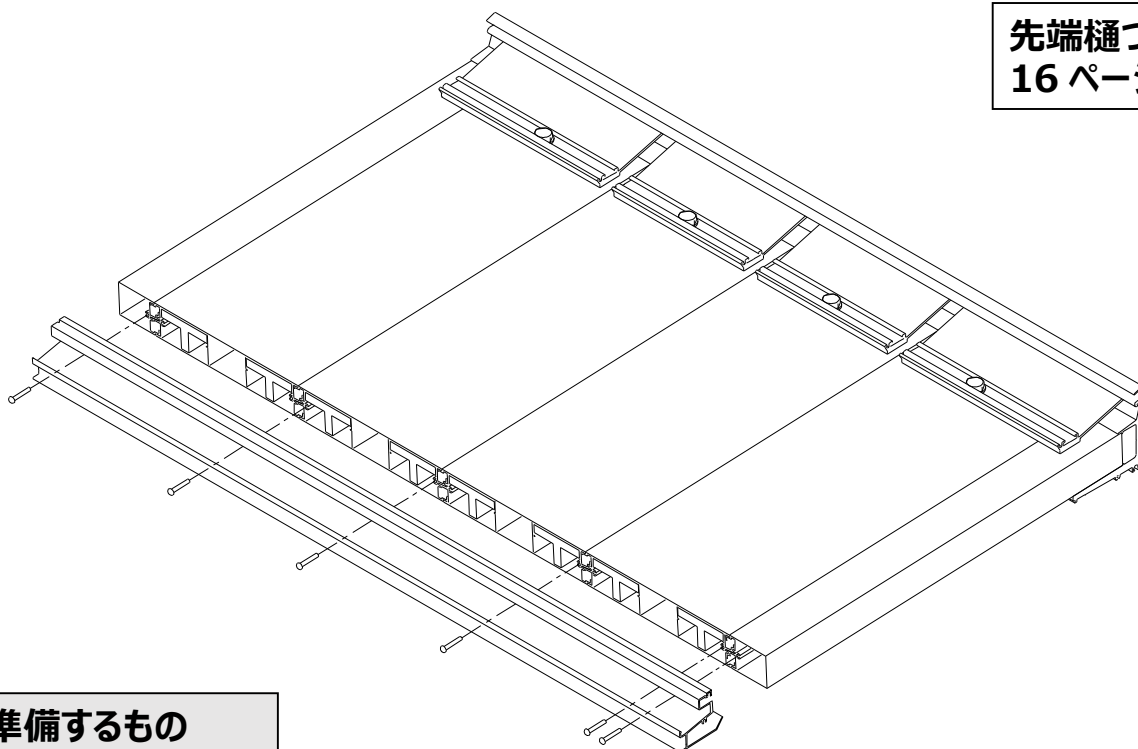
⚠ 注意

P 1 0 の手順でステーの向きを逆（DAIKEN 刻印側を壁側）につけていると「ゆるめる・締める」、「長さが伸びる・縮む」の回転方向が逆になります。

8. 先端見切（下）を取付ける（先端樋なし）

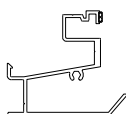
中間材の先端が揃っていることを確認し、先端見切（下）をトラスタッピンねじで取付けます。

先端樋つきは
16 ページへ⇒



準備するもの

● 先端見切（下）

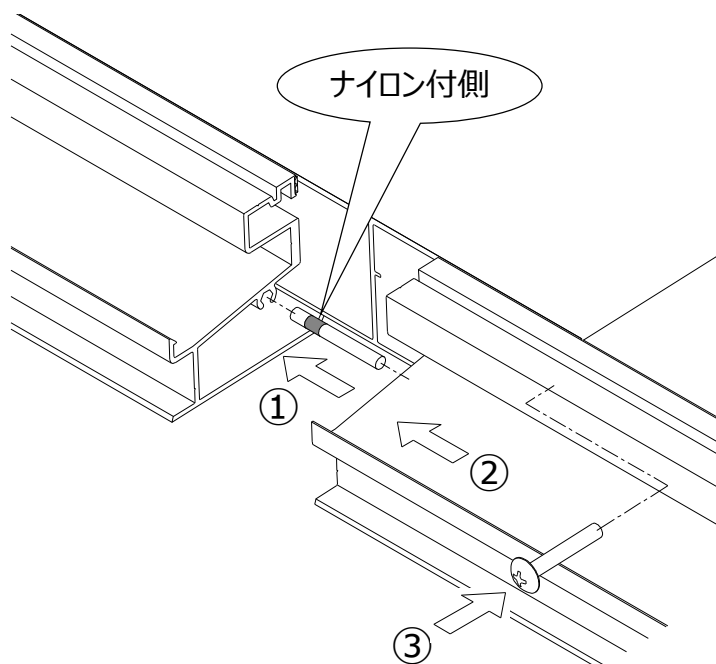


● トラスタッピンねじ 4×25

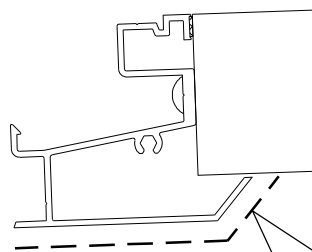
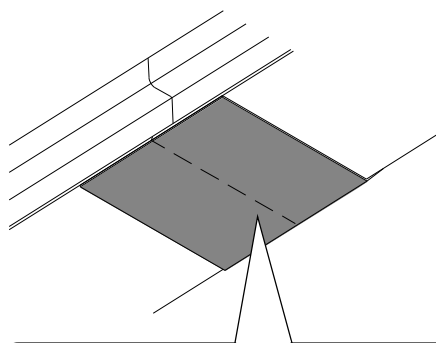


先端見切（下）を2本以上取付ける場合

- ① 先端見切に「ジョイントピン」のナイロン付側を差し込み、
- ② 先端見切同士を突き合わせて、
- ③ トラスタッピンねじで取付けます。



- ④ ヘラ等を使用して、目地部に止水テープをシワやスキマの無いように圧着します。



止水テープ
貼付範囲

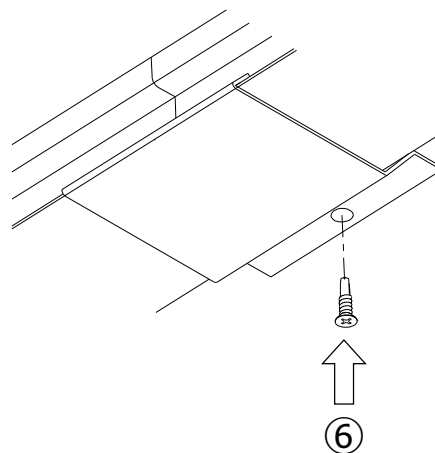
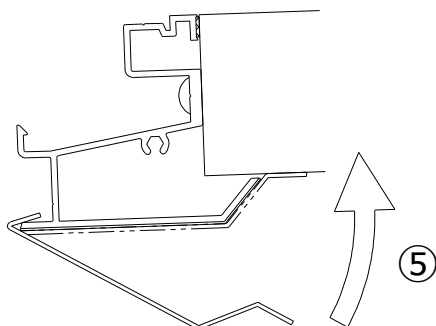
- 止水テープ貼付範囲の汚れや油分を確実に除去
(止水テープ貼付範囲より広い範囲)
- ヘラ等を使用し、シワやスキマの無いように圧着



注 意

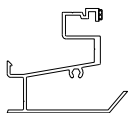
止水テープが確実に圧着できていないと、水漏れすることがあります。

- ⑤ カバー材を先端に引っかけて回転させ
⑥ 皿ドリルねじで取付けます。



準備するもの

- 先端見切 (下)



- ジョイントピン



- ③ トラスタッピンねじ 4×25



- 止水テープ W=50



- ジョイント部カバー材
L=60

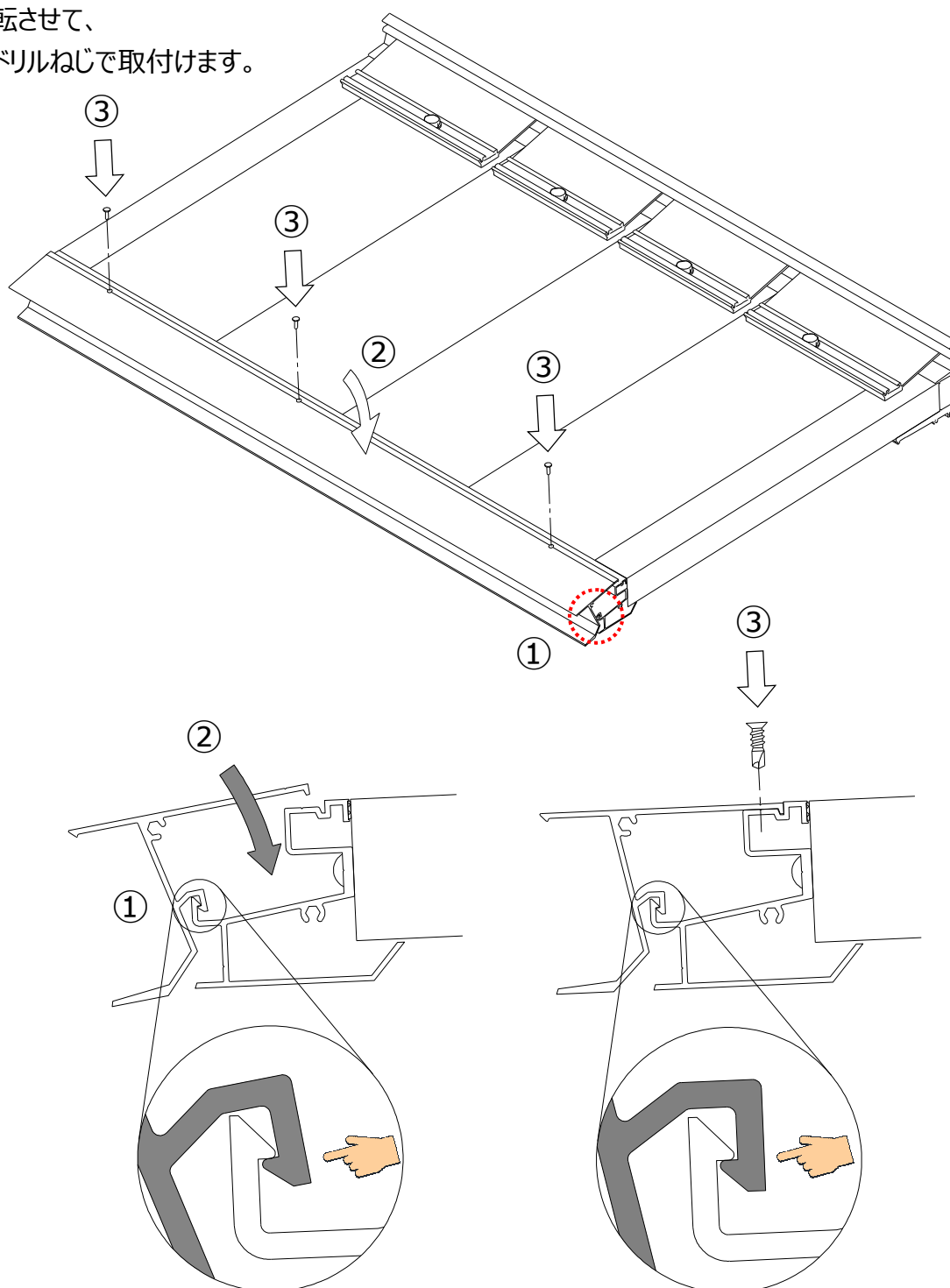


- ⑥ 皿ドリルねじ 4×13



9. 先端見切（上）を取付ける（先端樋なし）

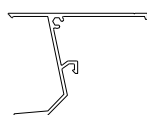
- ① 先端見切（上）を先端見切（下）に引っかけて、
- ② 回転させて、
- ③ 皿ドリルねじで取付けます。



準備するもの

- 先端見切（上）

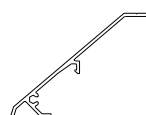
RS-K



RS-KR



RS-KS

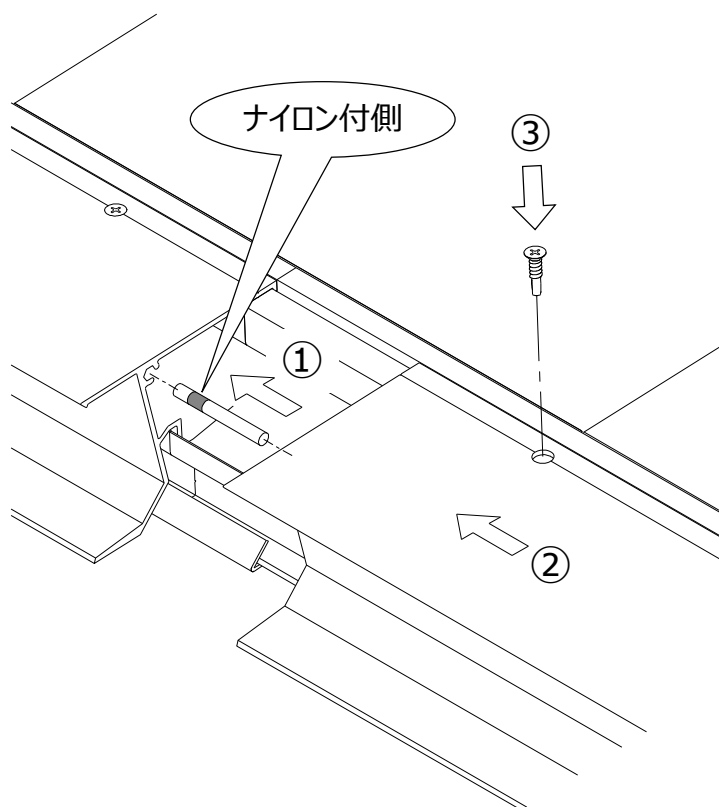


- 皿ドリルねじ 4×13



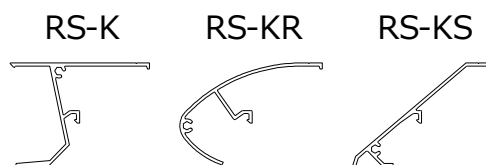
先端見切（上）を 2 本以上取付ける場合

- ① 先端見切に「ジョイントピン」のナイロン付側を差し込み、
- ② 先端見切同士を突き合わせて、
- ③ 皿ドリルねじで取付けます。



準備するもの

- 先端見切（上）



- ジョイントピン



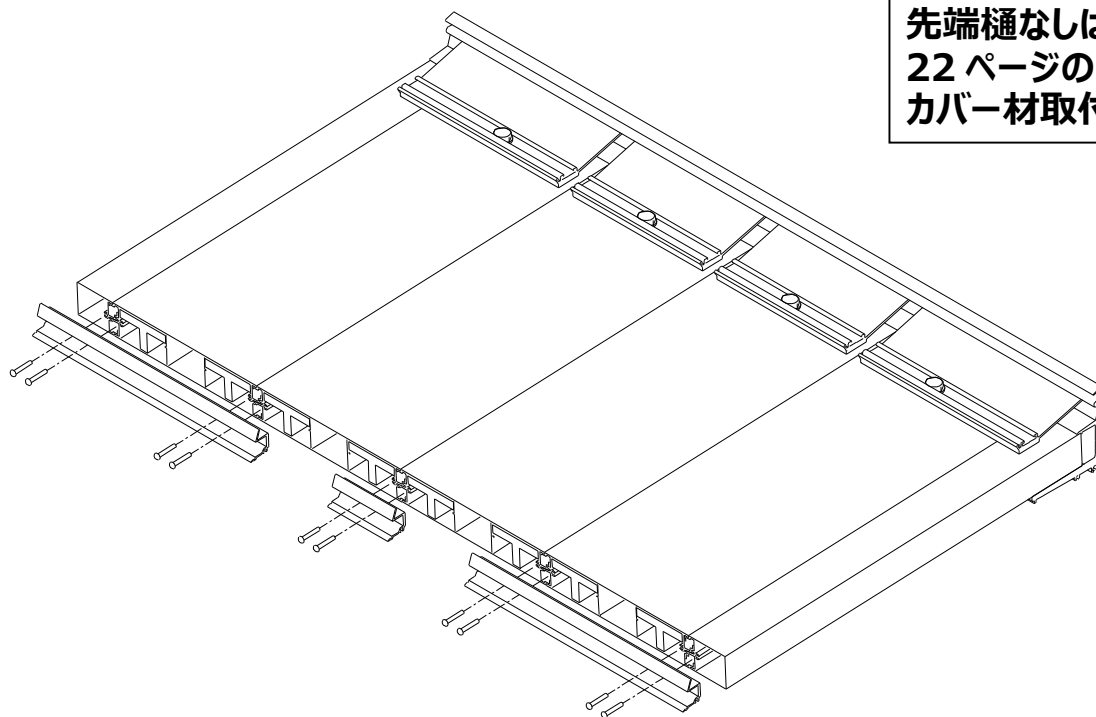
- 皿ドリルねじ 4×13



10. 先端見切 Bracket を取付ける (先端樋つき)

中間材の先端が揃っていることを確認し、先端見切 Bracket をトラスタッピンねじで取付けます。

先端樋なしは
22 ページの
カバー材取付けへ⇒



準備するもの

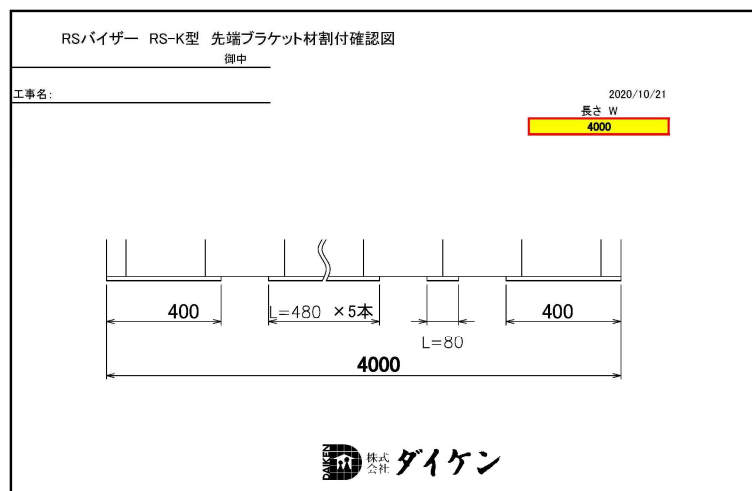
- 先端見切 Bracket
 - ・端部用
L=300 または 400
 - ・中間部用
L=480、80



- トラスタッピンねじ 4×25

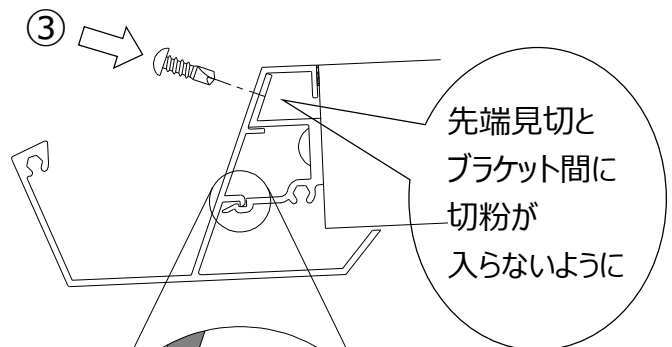
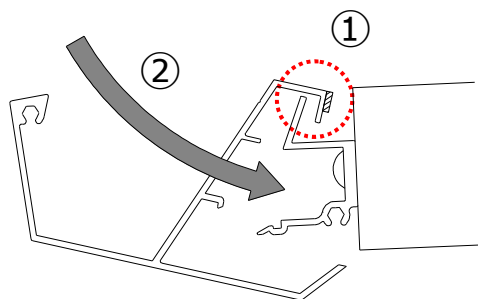
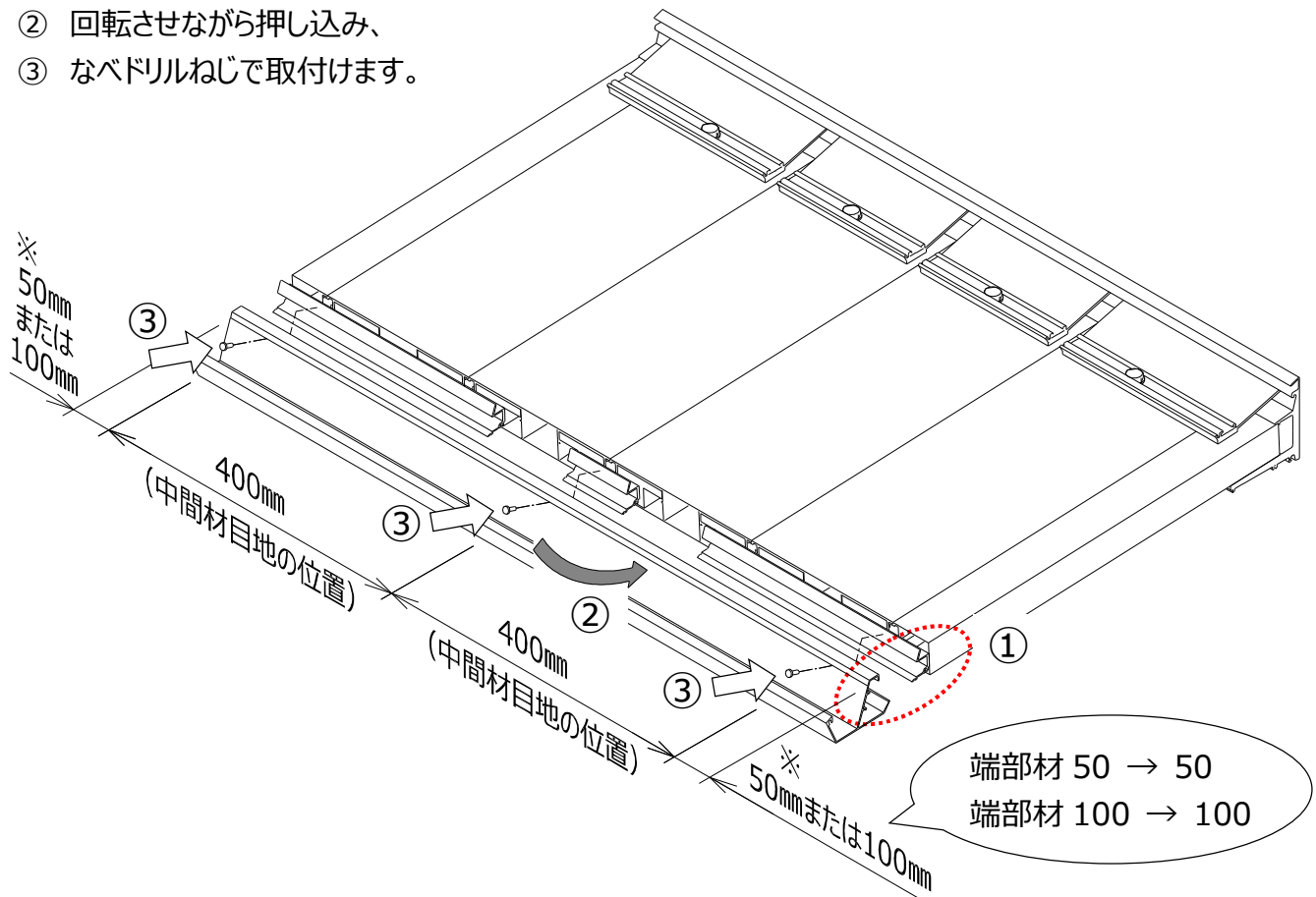


- 先端見切 Bracket
割付確認図
(A4 サイズ)



11. 先端見切を取付ける (先端樋つき)

- ① 先端見切をブラケットに引っかけて、
- ② 回転させながら押し込み、
- ③ なべドリルねじで取付けます。



準備するもの

- 先端見切



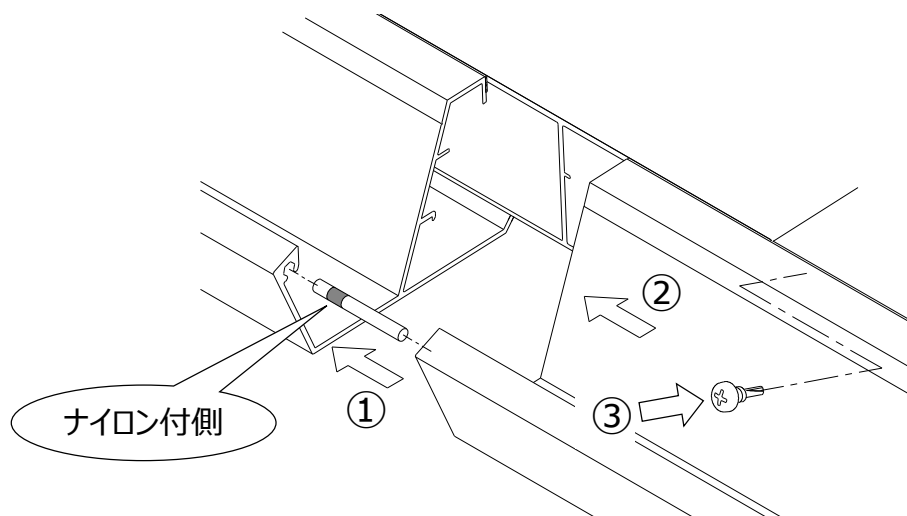
- なべドリルねじ 4×13



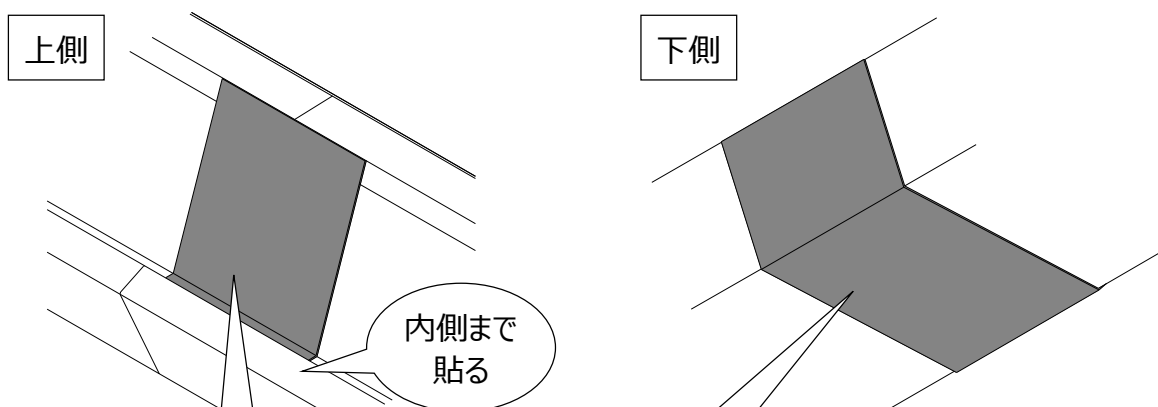
次ページへ続く⇒

先端見切を 2 本以上取付ける場合

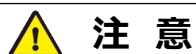
- ① 先端見切に「ジョイントピン」のナイロン付側を差し込み、
- ② 先端見切同士を突き合わせて、
- ③ ナベドリルねじで取付けます。



- ④ 目地部に止水テープを圧着します。（※）ヘラ等を使用して、シワやスキマの無いように

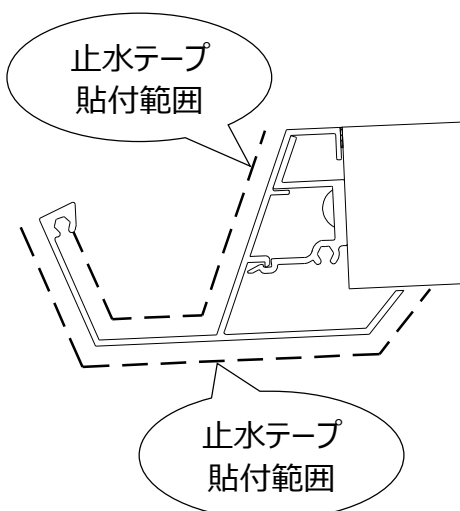


- 止水テープ貼付範囲の汚れや油分を確実に除去（止水テープ貼付範囲より広い範囲）
- ヘラ等を使用し、シワやスキマの無いように圧着

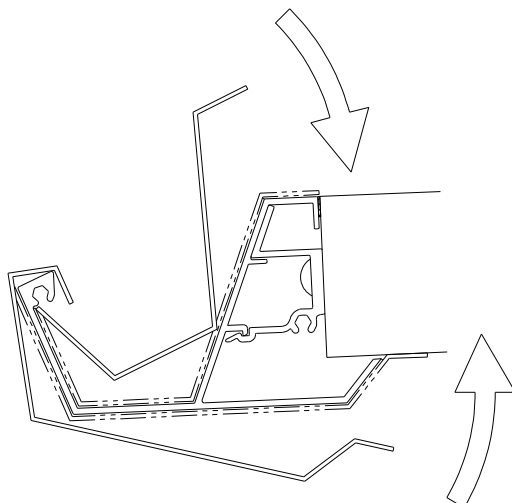


注 意

**止水テープが確実に圧着できていないと、
水漏れすることがあります。**

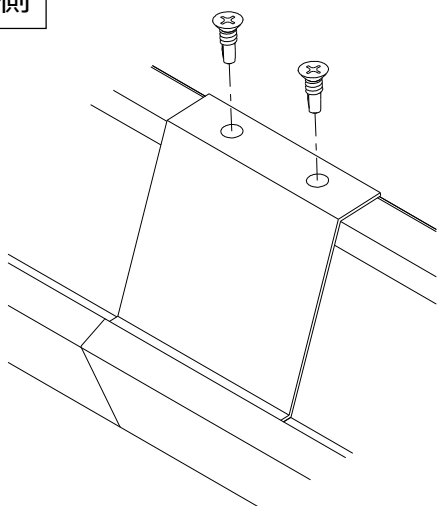


⑤ カバー材を先端側に引っかけて回転させます。

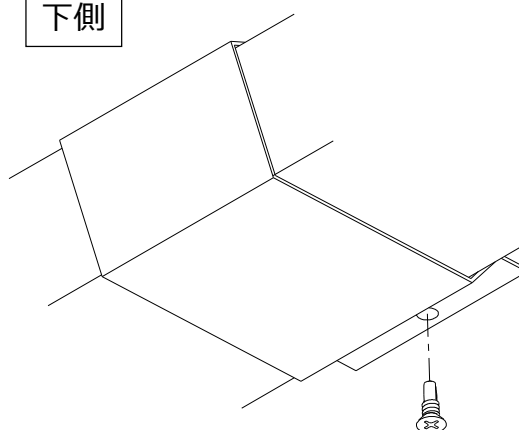


⑥ 皿ドリルねじで取付けます。

上側

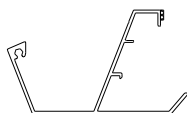


下側



準備するもの

● 先端見切



● ジョイントピン



● ③ なべドリルねじ 4×13



● ⑥ 皿ドリルねじ 4×13



● 止水テープ W=50



● ジョイント部カバー材（下）
L=60



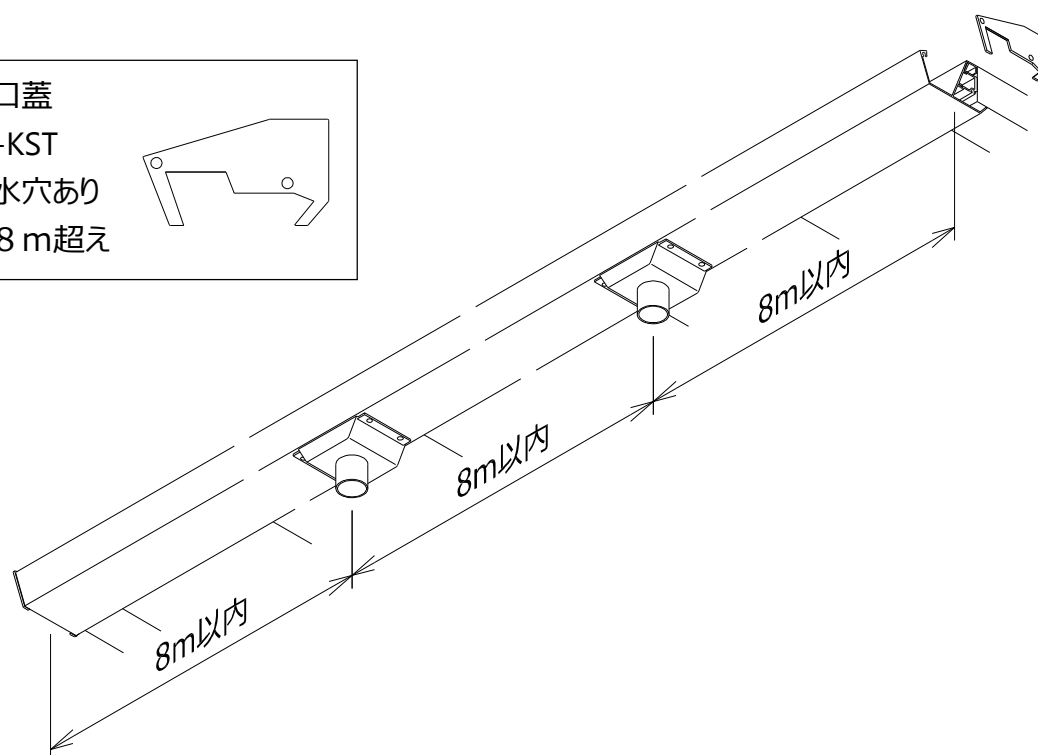
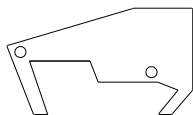
● ジョイント部カバー材（上）
L=60



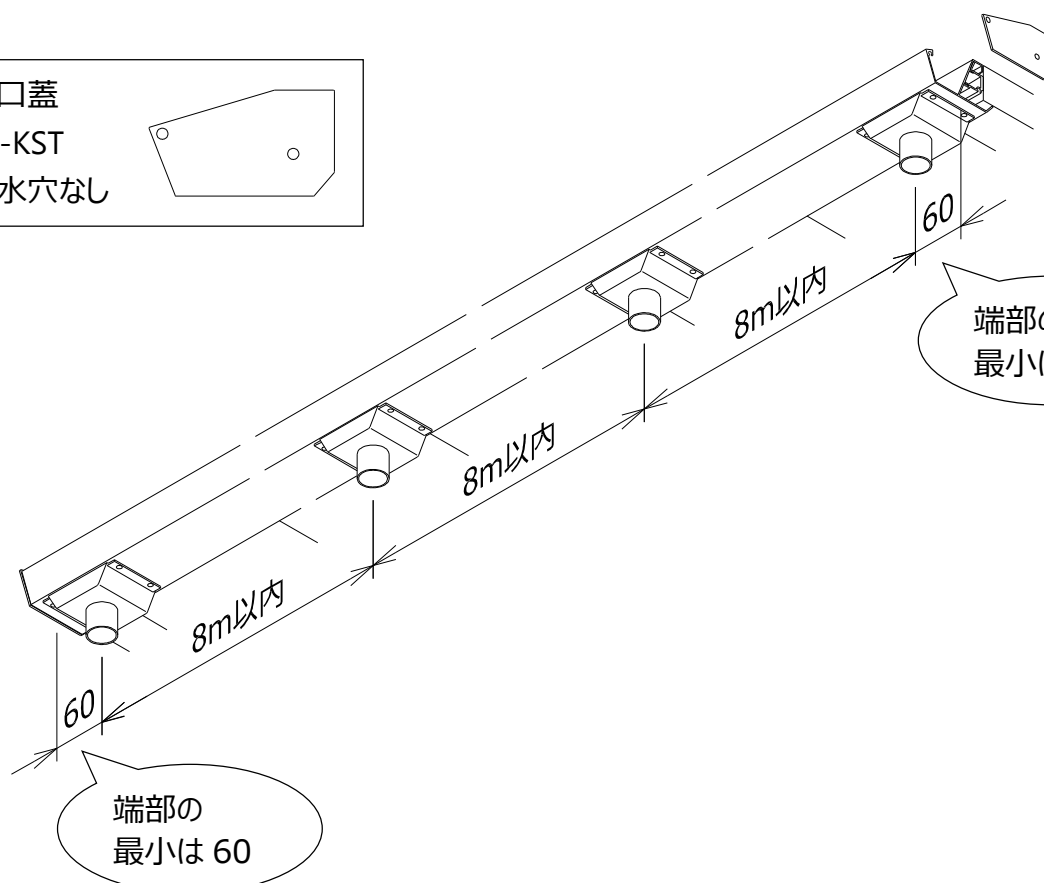
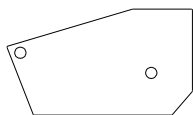
12. 集水桝・落とし口を取付ける (先端樋つきオプション)

- ① 先端見切に集水桝を取付ける位置を決めます。

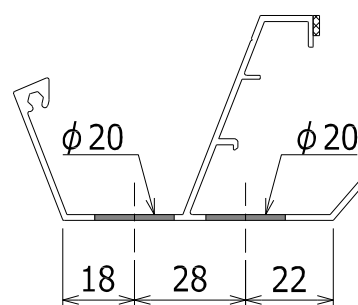
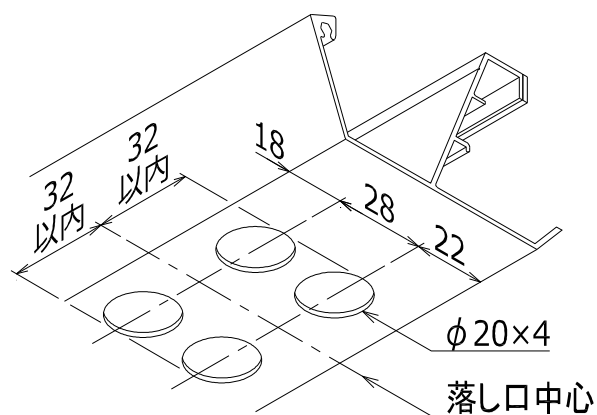
小口蓋
RS-KST
排水穴あり
幅 8 m 超え



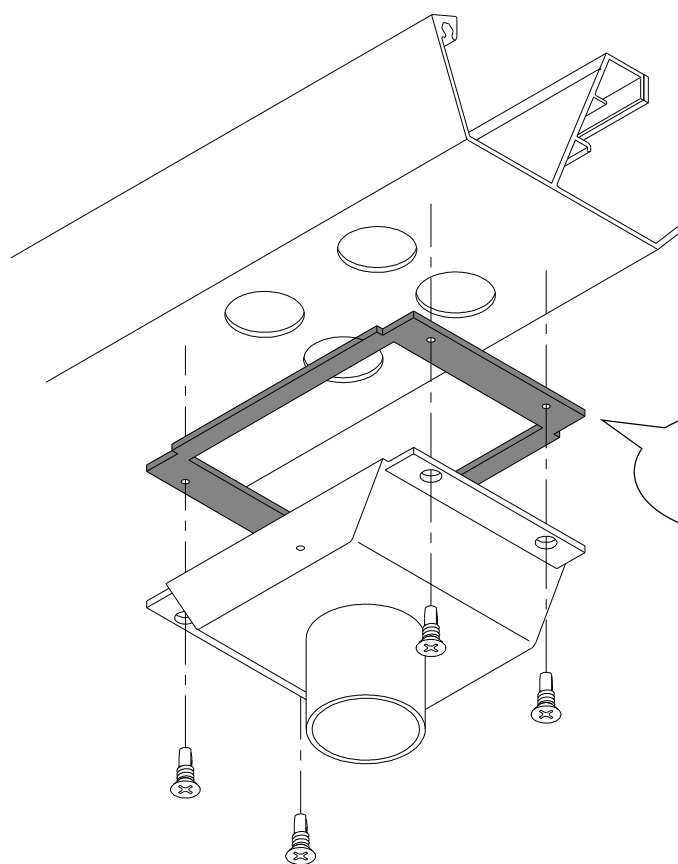
小口蓋
RS-KST
排水穴なし



② 集水桝取付位置にφ20の排水穴を4つあけます。



⑥ 集水桝を皿ドリルねじで取付けます。



⚠ 注意

排水穴の

- ・大きさが小さい
- ・数が少ない
- ・あけ忘れ

があると、
雨水がオーバーフロー
することがあります。

準備するもの

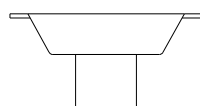
● 先端見切



● パッキン t=2



● 集水桝

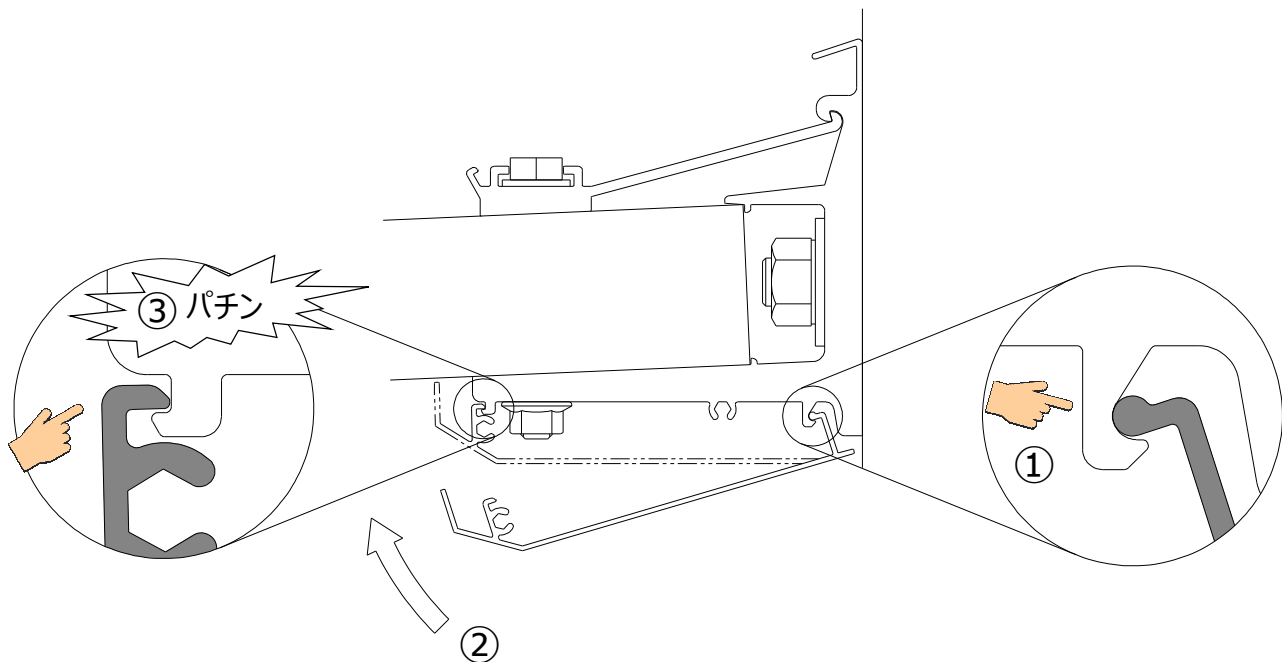
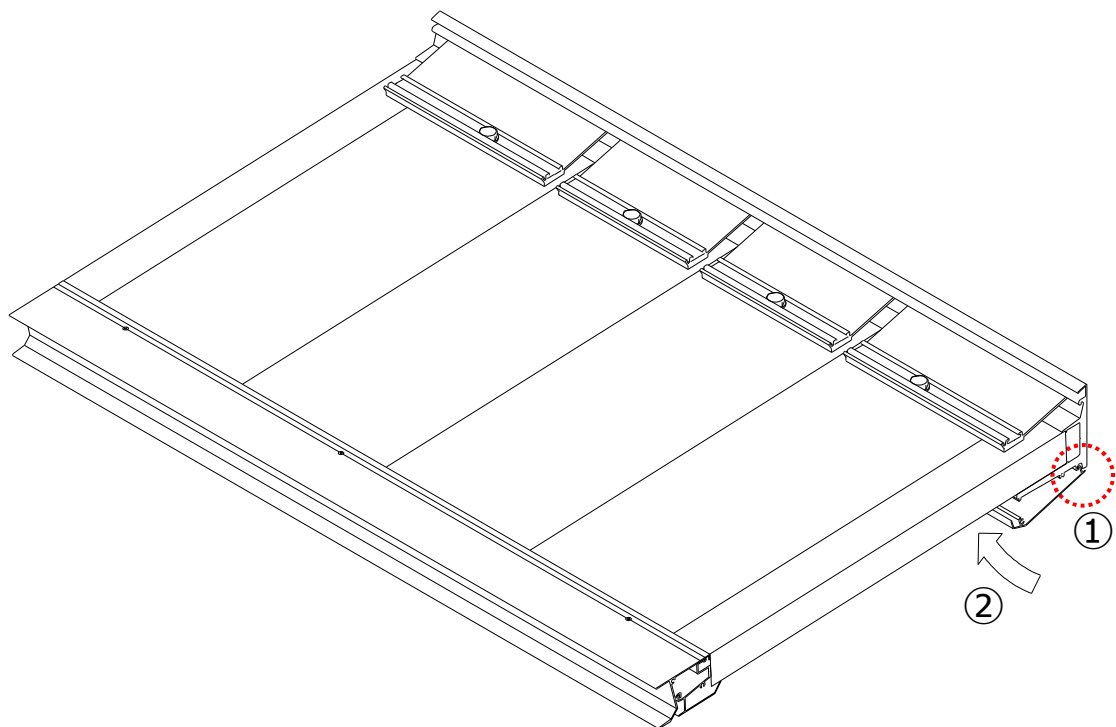


● 皿ドリルねじ 4×13



13. カバー材（小）を取付ける

- ① カバー材（小）を壁軸材に引っかけて、
- ② 回転させて、
- ③ パチンと音がするまで押し込んで取付けます。



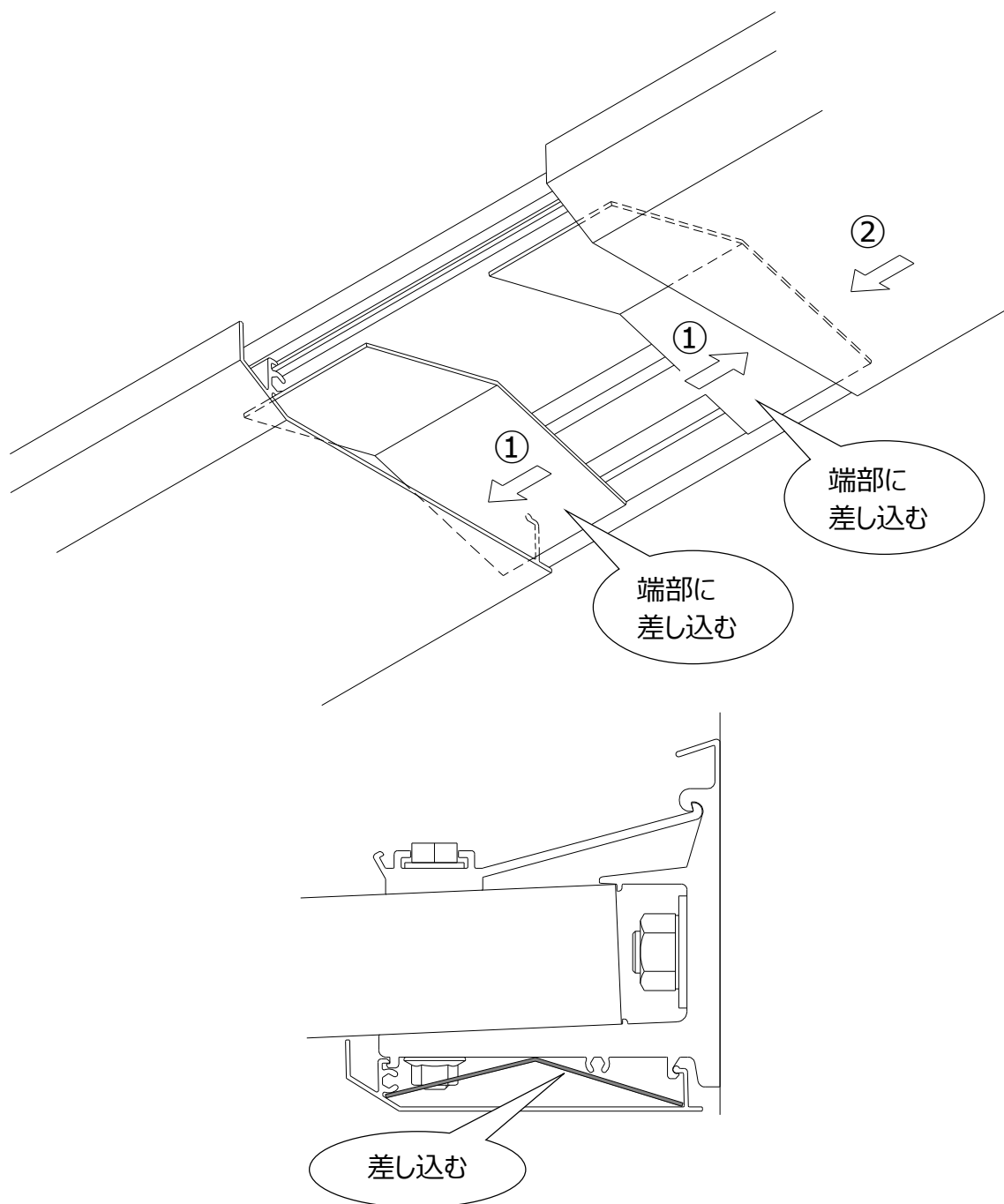
準備するもの

- カバー材（小）



カバー材（小）を2本以上取付ける場合

- ① カバー材（小）の端部（両側）に固定材を差し込み、
- ② カバー材（小）を突き合わせます。



準備するもの

- カバー材（小）

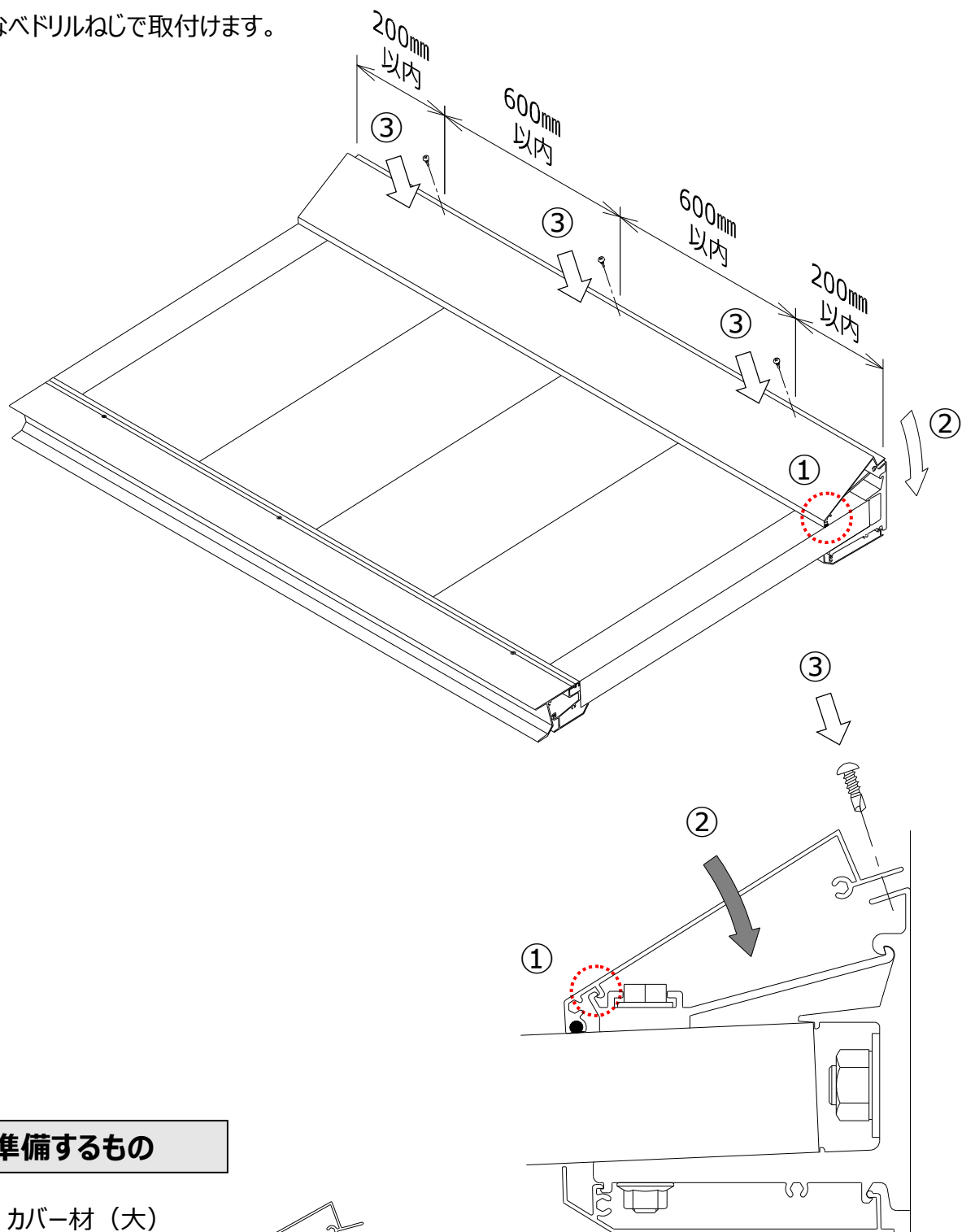


- カバー材（小）固定材
L=40



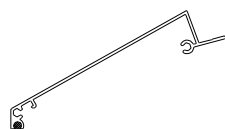
14. カバー材（大）を取付ける

- ① カバー材（大）をパネル軸材に引っかけて、
- ② 回転させて、
- ③ なべドリルねじで取付けます。



準備するもの

- カバー材（大）

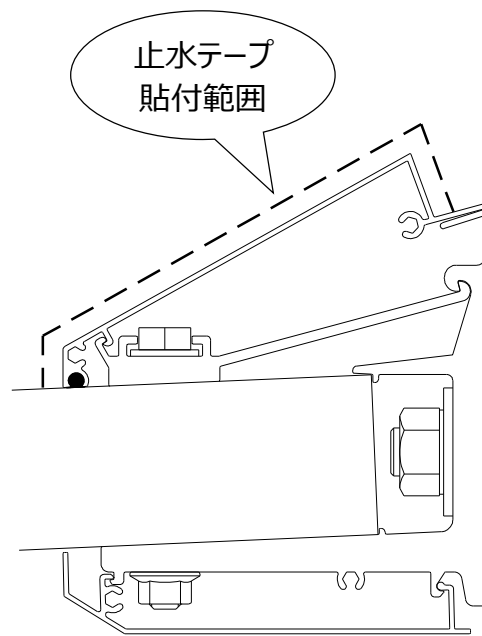
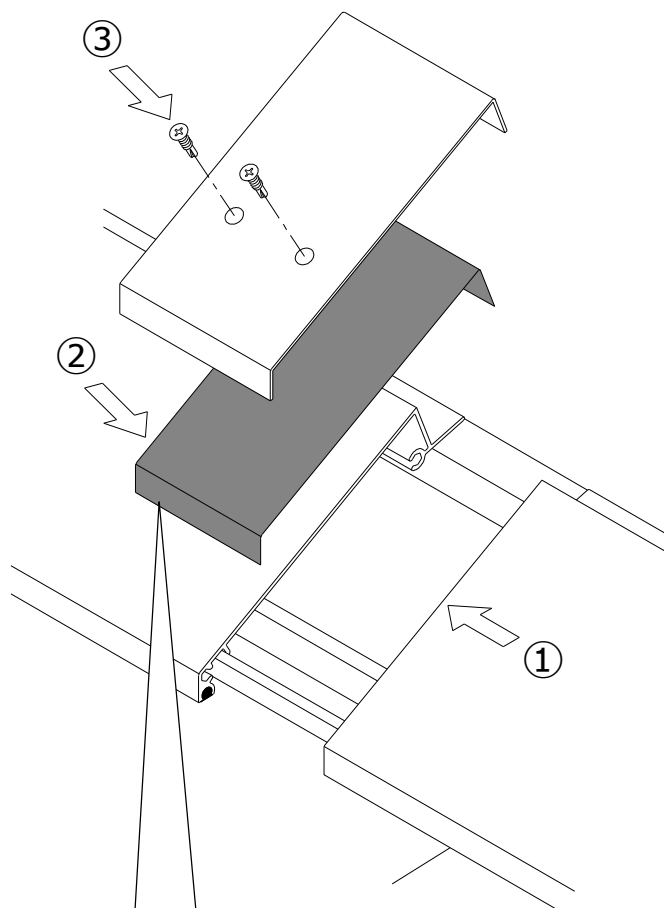


- なべドリルねじ 4×13



カバー材（大）を2本以上取付ける場合

- ① カバー材（大）を突き合わせ、
- ② 目地部に止水テープを圧着し、（※）ヘラ等を使用して、シワやスキマの無いように
- ③ カバー材を皿ドリルねじで取付けます。



- 止水テープ貼付範囲の汚れや油分を確実に除去（止水テープ貼付範囲より広い範囲）
- ヘラ等を使用し、シワやスキマの無いように圧着

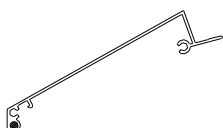


注意

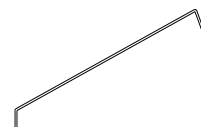
止水テープが確実に圧着できていないと、水漏れすることがあります。

準備するもの

- カバー材（大）



- ジョイント部カバー材
L=60



- 止水テープ W=50

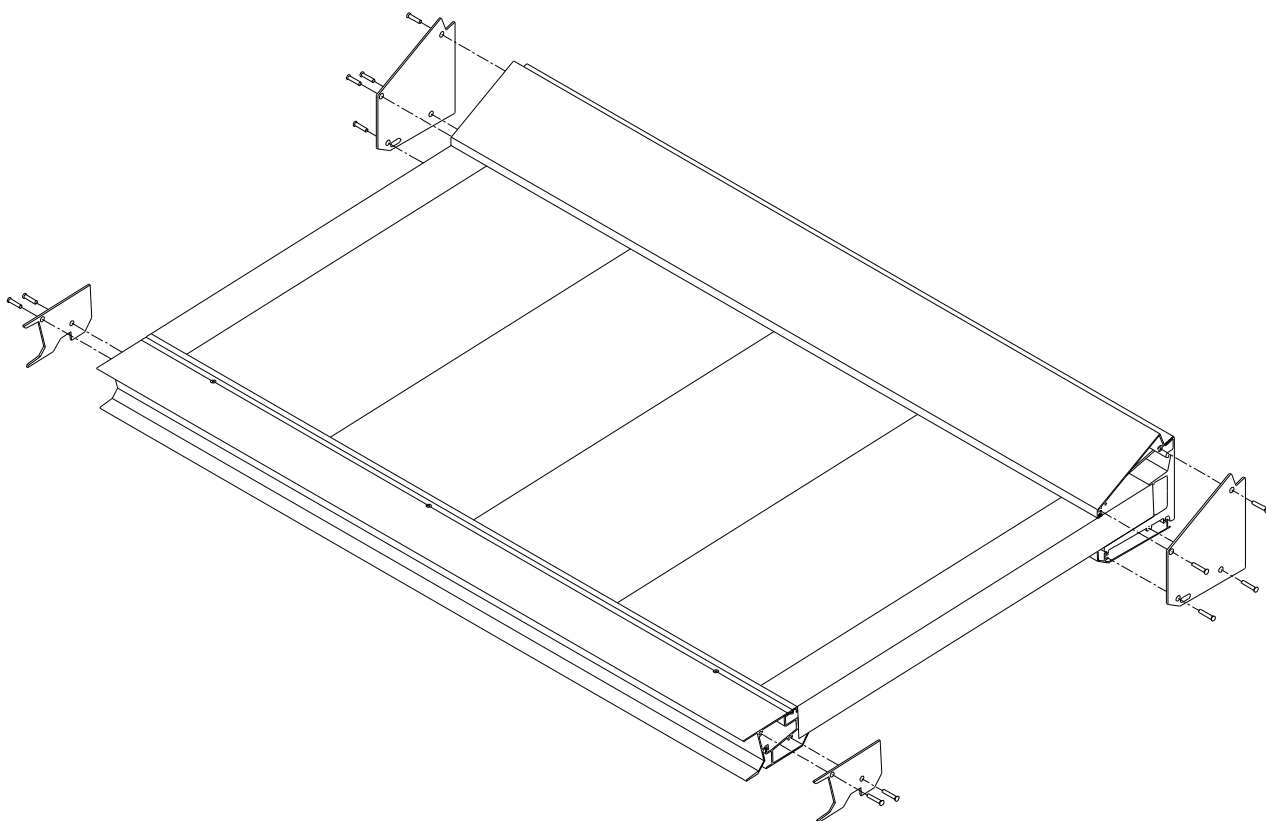


- 皿ドリルねじ 4×13



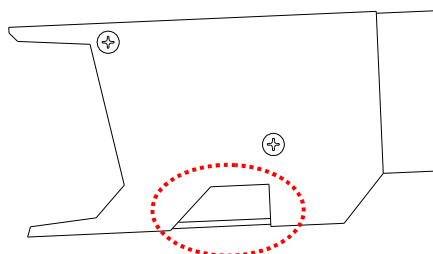
15. 小口蓋を取付ける

小口蓋を皿タッピンねじで取付けます。



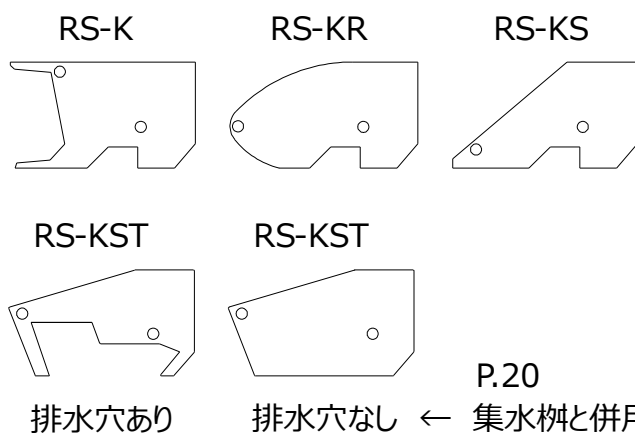
⚠ 注意

小口蓋の排水穴は
ふさがないでください。
ふさいでしまうと、
水漏れすることがあります。

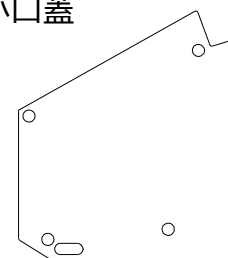


準備するもの

● 先端見切小口蓋



● 壁軸材小口蓋

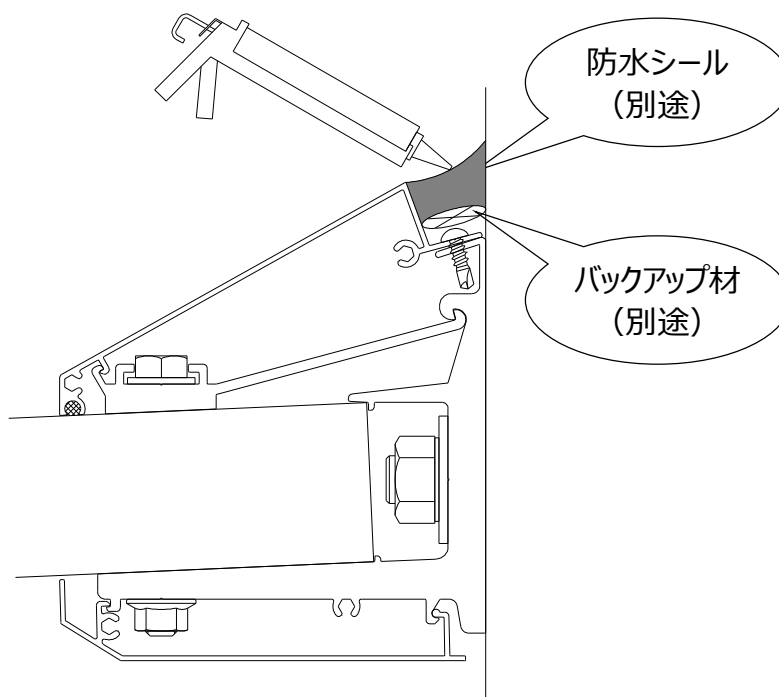
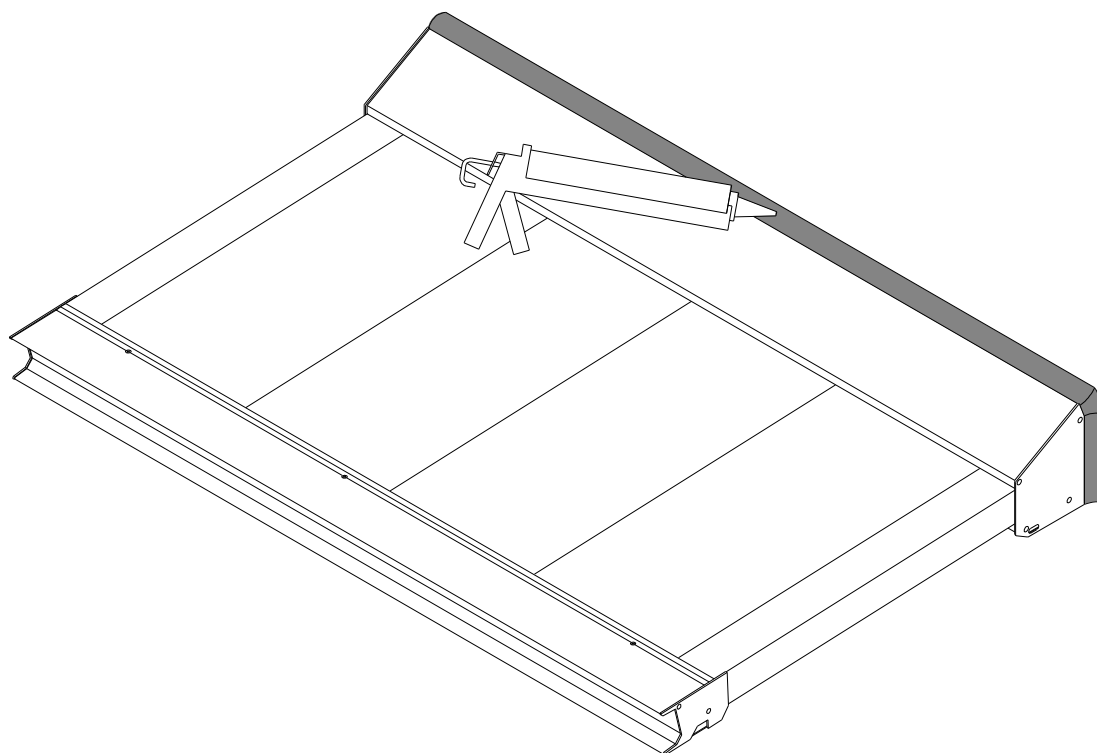


● 皿タッピンねじ 4×16



16. 防水シール工事（別途）

壁軸材の上部、端部に防水シールを施します。



準備するもの

- バックアップ（別途）
- 防水シール（別途）

【オプション】 LED 照明

⚠ 注意

- ☑ 照明器具に水をかけないでください。
- ☑ 入力電圧は100Vを守ってください。 ※スポットタイプは100～240V。
- ☑ 正規の施工方法以外での取付けや、改造等を行わないでください。
- ☑ 電気配線工事は必ず専門業者（有資格者）に依頼してください。
無資格者の電気工事は禁止されています。

接続図

スポットタイプ (サイズφ49)

LED 側電線

黒 : AC100V(L)へ
白 : AC100V(N)へ

配線用穴
別途

AC100Vと結線
※電気工事業者作業

電源コード
オプション

広角タイプ (サイズ W54×L300)

LED 側電線

黒 : AC100V(L)へ
白 : AC100V(N)へ
緑 : アース

AC100Vと結線
※電気工事業者作業

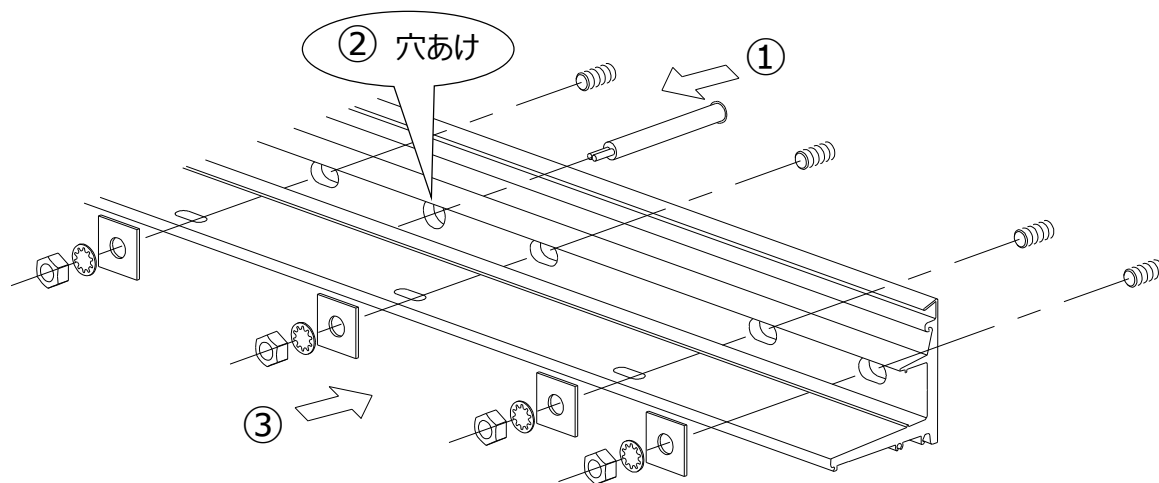
配線用穴
別途

LED 付中間材
(電源装置組込み)

電源コード 2m 付小口蓋
※スポットタイプオプション

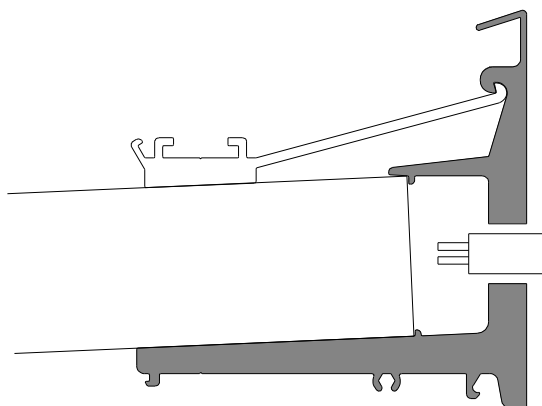
- ① 庇取付部の外壁から電線（AC100V）を出し（※）、
- ② 電線の位置に合わせて壁軸材に穴をあけて（※）、
- ③ P 5 の手順で壁軸材を取付けます。

（※）スポットタイプで電源コード付小口蓋を使用する場合は不要です。



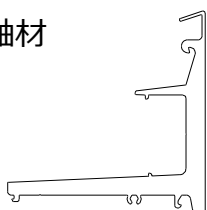
⚠ 注意

電線（AC100V）は
壁軸材側から出してください。

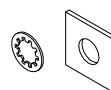


準備するもの

- 壁軸材



- 角座金 □32 t 2.3
- 歯付座金 M12
- 六角ナット M12（別途）
- 電線（別途）



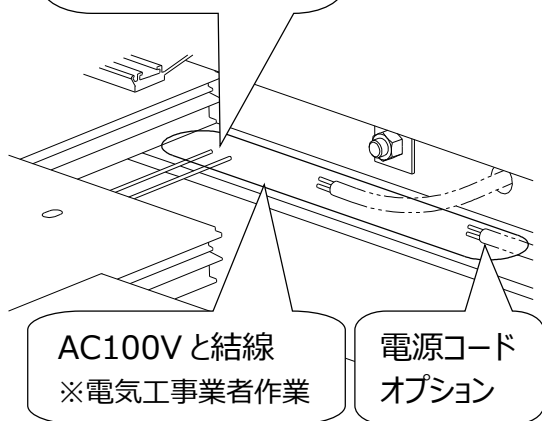
次ページへ続く⇒

④ L E D付中間材の電線と結線します。

スポットタイプ (サイズφ49)

LED 側電線

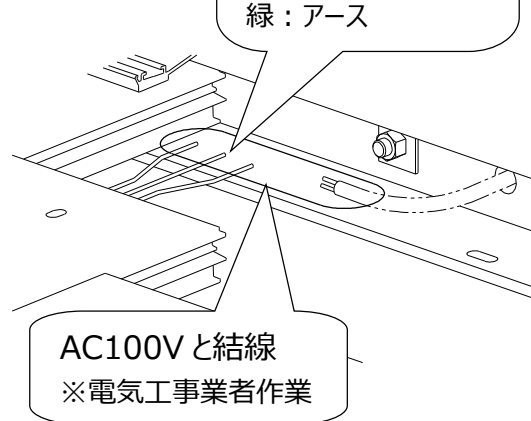
黒 : AC100V(L)へ
白 : AC100V(N)へ



広角タイプ (サイズ W54×L300)

LED 側電線

黒 : AC100V(L)へ
白 : AC100V(N)へ
緑 : アース



注意

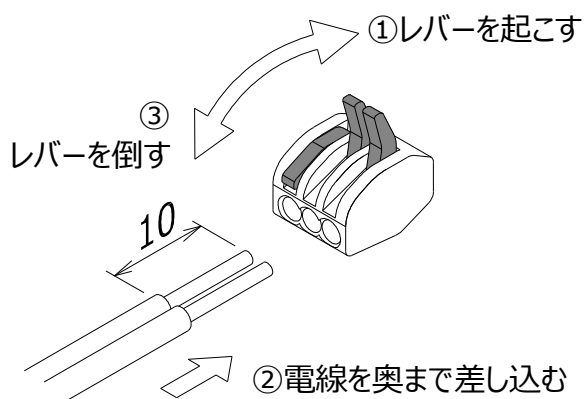
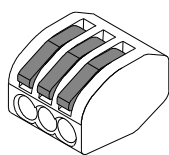
・コードをはさまないようにしてください。

重要

・LED 照明が点灯することを確認してください。
・点灯しない場合は、接続不良、断線を確認してください。

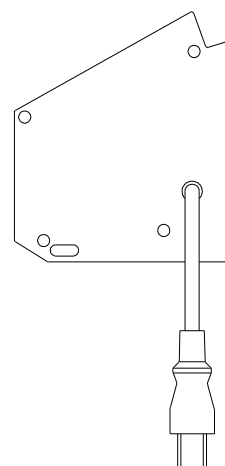
準備するもの

● 結線用コネクタ



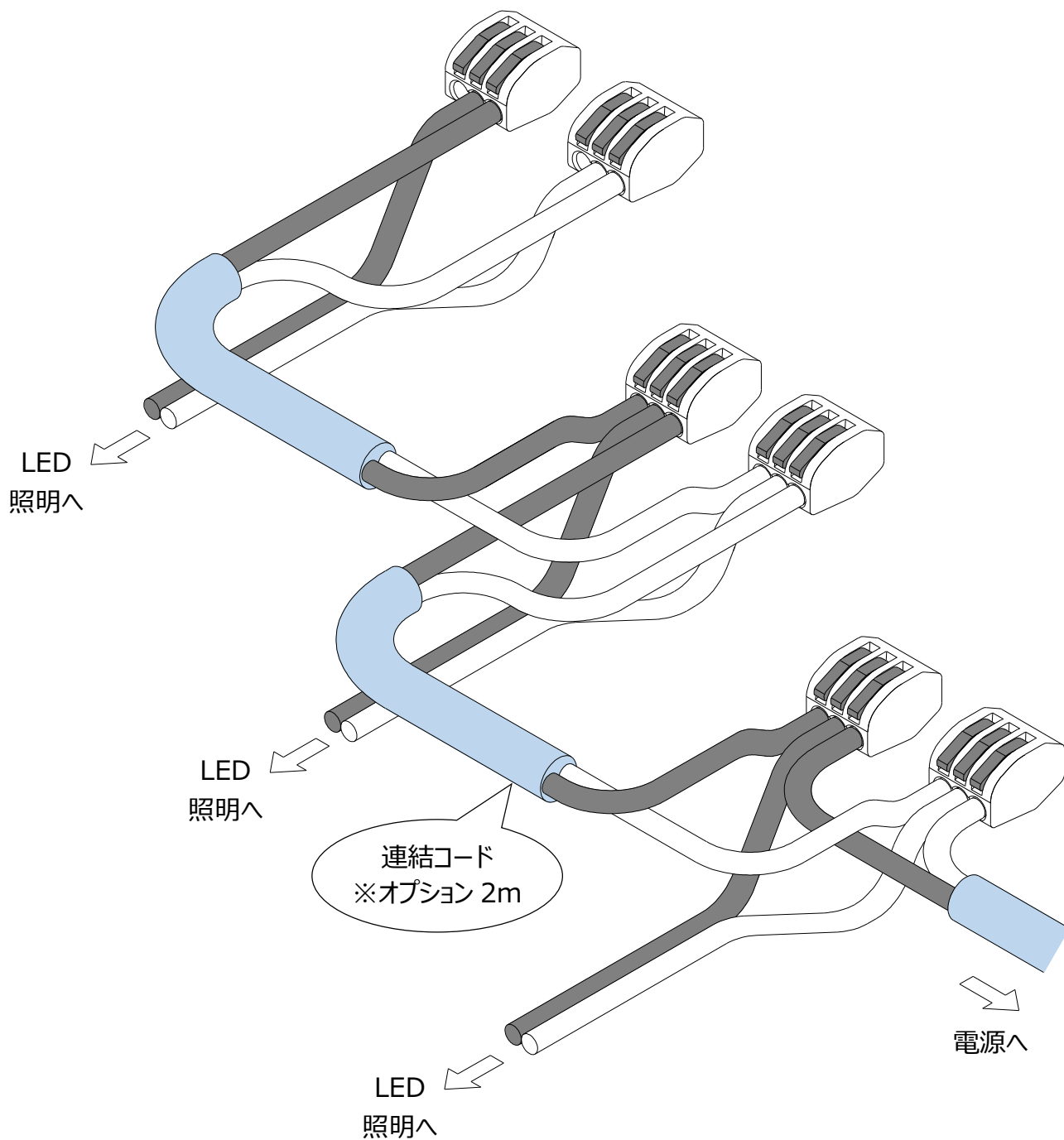
● 電源コード付
壁軸材小口蓋

※スポットタイプ
オプション



LED 照明を連結する場合

LED 照明を連結する場合は、下図のように接続します。



P.3 以降の施工手順中の重要なポイントをまとめていますので、ご確認ください。

項目	チェック		内容	ページ
壁軸材 ステーブラケット 取付ボルト			ボルト出しの長さは規定寸法ですか？ 【壁軸材】25mm 【ステーブラケット】出幅1500mm以下：15mm 出幅1500mm超え：20mm	P.3 ～ P.4
壁軸材			壁面の出入りは調整しましたか？	P.5
			取付ボルトは、規定数量通り確実に取付けしましたか？	
			水平の確認は出来ていますか？	
中間材			取付穴横の「Ｔ字」刻印が上面になっていますか？	P.6
			壁軸材の突起に当たっていますか？	
			【ステンカラーの場合】左から順番通り取付けましたか？	
			中間材と壁軸材が直角（90°）であることを確認しましたか？	P.9
			中間材の先端が揃っていますか？	
パネル軸材			壁軸材に引っかかっていますか？	P.7
ステー			底の先端のレベルは出ていますか？	P.11
先端見切 カバー材（大）			【２本以上取付ける場合】 止水テープは確実に圧着しましたか？	P.13 P.18 P.25
集水桝			排水穴は、規定通りあけましたか？	P.21
小口蓋			先端見切小口蓋の排水穴をふさいでいませんか？	P.26
防水シール			指示箇所は全て防水シールを施しましたか？	P.3、4、27
ねじ・ボルト類			規定箇所に正しく取付けされていますか？	全般

製品不良やメンテナンス部品の在庫のお問い合わせは、お買上げいただいた販売店・代理店まで

製品のお問い合わせは
最寄りのダイケン営業所まで



●受付時間 月～金 9:00～12:00/13:00～17:00
(十日・祝日・年末年始・夏季休業等除く)

■本社:大阪市淀川区新高2-7-13 TEL(06)6392-5321
■ホームページ www.daiken.ne.jp

札幌支店 ☎(011)881-3121
〈北海道エリア〉

東京支店 ☎(03)3633-6551
〈東京23区エリア〉

駐輪推進課 ☎(03)3633-9331

特販營業所 ☎(03)3633-6552
 多主屋支店 ☎(0586)77-7561

石川・福井・浜松エリア

大阪支店 ☎(06)6392-5556
〈大阪・兵庫・奈良・京都・和歌山・滋賀エリア〉

盛岡営業所 ☎(019)908-2202
〈岩手・青森・秋田エリア〉

仙台営業所 ☎(022)235-4380
(宮城・山形・福島エリア)

埼玉営業所 ☎(048)667-9381

千草堂業所 ☎ (043) 460-2010

〈千葉・茨城エリア〉

西関東営業所 ☎(042)722-5040
〈神奈川・山梨・一部都下エリア〉

静岡営業所 ☎(054)237-5375
 〈静岡エリア〉※浜松エリアは名古屋支店へ

岡山営業所 ☎(086)297-9100
(岡山・四国・中国エリア)

広島営業所 ☎(082)294-9181

福岡営業所 ☎(092)482-8112

〈九州7県・沖縄エリア〉

よくあるお問い合わせを
ホームページで公開中!
QRコード読み取りで表示



【追加 施工要領】 RS バイザー LED 照明

確実な施工を行い、製品の安全を確保するため、施工前にこの「施工要領」を必ずお読みください。

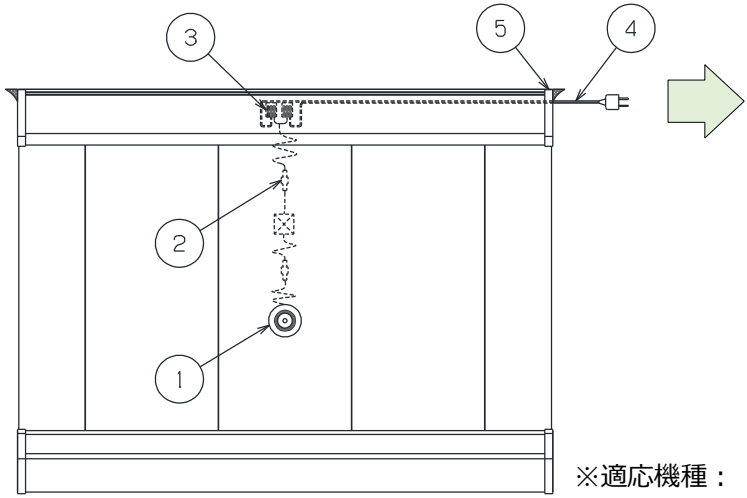


施工上の注意点

- ☐ 照明器具取替え時に、底に乗ったりぶらさがったりしないでください。
- ☐ 照明器具に水をかけないでください。
- ☐ 定格電圧（100～240V）を守ってください。
- ☐ 正規の施工方法以外での取付けや、分解・改造等を行わないでください。
- ☐ 電気配線工事は必ず専門業者(有資格者)に依頼してください。一般の方の電気工事は禁止されています。

※改良のため予告なく製品の一部を変更する場合があります。御了承ください。

■ 部材名称



※防滴コンセントへ差し込む
もしくは配線工事



【 定格電圧 100～240V】

※適応機種： RS-K 型／RS-K2 型

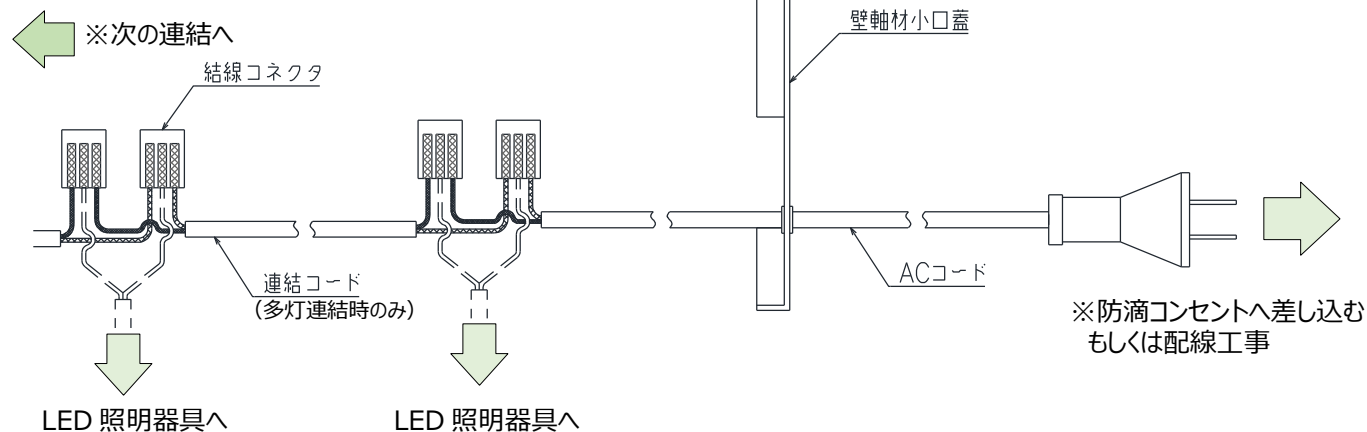
(部材名称 一覧表)

番号	部 材 名 称	備 考
①	LED 照明器具	アルミニウム製 φ49
②	配線連結ソケット	
③	結線コネクタ	
④	AC コード	
⑤	壁軸材小口蓋	

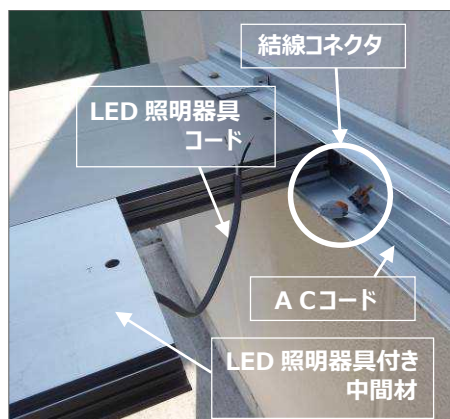
※多灯連結の場合は、連結コードが付属します。

詳しい内容については次頁「多灯連結時の配線図」を参照してください。

□ 多灯連結時の配線図

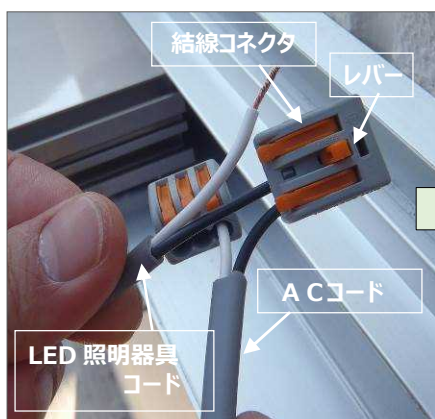


■ 施工手順



1

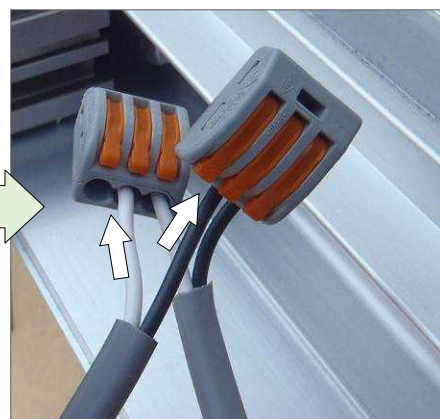
上写真のように、LED 照明器具付き中間材を仮固定して、「LED 照明器具コード」と「ACコード」を結線コネクタで連結します。



2

(コード連結の手順)

- ① 結線コネクタのレバーを起こす。
- ② 結線コネクタに LED 照明器具コードを奥まで差し込む。
- ③ レバーを倒す。
- ④ 差し込んだコードを軽く引っ張り、固定されている事を確認する。



3

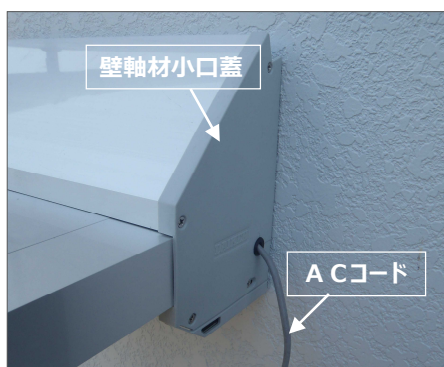
中間材をスライドさせ、壁軸材にセットします。
残りの中間材をスライドして壁軸材にセットします。

詳しくは底本体の施工要領書を参照してください。



注意

コードをはさまないよう注意してください。



4

壁軸材小口蓋を付属の皿タッピンねじで取付けます。
壁軸材上部・端部に防水シール（別途）を施します。

詳しくは底本体の施工要領書を参照してください。



重要

AC コードをコンセントに差し込み、LED 照明が点灯することを確認してください。

■ 照明器具の交換方法

【 器具交換の前にすること 】

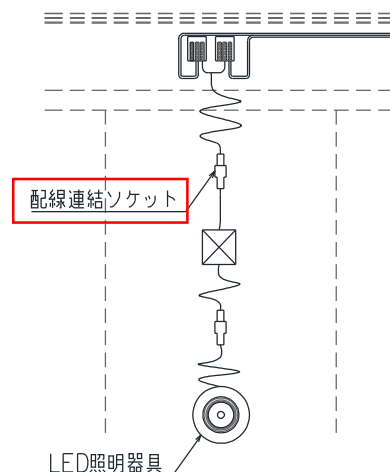


重 要

器具を交換する前に必ず電源コンセントをぬいてください。

※感電のおそれがあります。

※器具を交換する場合は、配線連結ソケットから交換します。



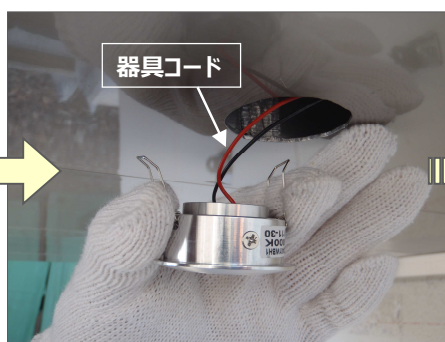
【 手順 】



1

LED 照明器具を軽く指でつまみ、底からゆっくり取り外してください。

※バネが勢いよく飛び出すことがあるので注意してください。



2

LED 照明器具を下に引っ張ると器具コードが出てきます。電源ドライバーが出てくるまでコードをゆっくり引っ張ってください。



3

さらに配線連結ソケットが出てくるまでコードをゆっくり引っ張ってください。



4

配線連結ソケットの差し込み部を抜き、新しいLED 照明器具と取り替えてください。



注 意

コードを引っ張ると接続部が抜けるおそれがあります。ソケット自体をつまんで抜いてください。

